北方政府組織を

へ向つたが右は近く長崎から船を 工時部下数名と共に自動車で長崎 日本時部下数名と共に自動車で長崎 日本の張宗昌氏は二十六日朝 の大田和蔵

過渡的憲法制定

北方派の約法の大綱

地方官

異動

默認程度の諒解

南方代表張群氏

記者 反將軍との和睦は駄目ですまれてゐる

限氏 これは仕方がない何れの政 現氏 これは仕方がない何れの政 ますが これを基本にすると思ひ 変達をこれを基本にすると思ひ 変達をこれを基本にすると思ひ ますが ますが ますが ますが ますが ますが これは僕と所管を異にして でするこれを基本にすると思ひ

任石川

任肯森思

任岩手 任宫城 任變知

卓上には成程満洲日報のみが山積

福岡縣博記官 平田 賞一任神宮皇學館長(二)

任北海道部長(二)補土木部長 西山左

脚は二十七日左の如く正式に發令、『東京北七日愛電道』地方官の異

年業縣實配官內務部長 住北海滨部長(二)補內務部長 吉田*時*大

部長級の分けふ發表

時局を語る

北戴河ホテルにて

関本し直ちに同夜外交部で開かれ 望版兩氏等は昨夜七時北野河より 北方派の意見には 張學良氏も賛成 覃氏會見顚末を報告

とばらく過激あり度し」といふ とばらく過激あり度し」といふ の誤解を見へたのみであると信ぜ られてゐる 張宗昌氏長崎へ 愈よ時局へ乗出すか

わが委員に引揚命令 追撃開始

當分交渉は不可能と見極めて

ではあるまい、暴嘘であらうとと楽想し得たであらうか。フラと楽想し得たであらうか。フランス大革命の時でさへ、ルイナ世は侍從武官長の革命なる報告に接し、暴闘ではないか、革命に接し、暴闘ではないか、革命

京奉線なほ通ぜて鉱州附近の外一一でその間北欧河に都在すること去る廿五日勝率の豫定であつたが一ヶ所の修繕に四、五日を要する

北平に襲來して爆燗を投下し全市

愈よ來十月から **釐金撤廢を斷行** 

借り臨國するのでその下交渉のためと見られ滅氏の行動は時節柄注 

長 田中 職六 長 麻生 亮酸

戶振九一郎 大場鑑次郎

新進拔擢の跡は

充分認められる

地方官大異動批評

李財政部參事の聲明

三千萬元を地方費に繰入れ更に を限り第一年は全額、第二年は を限り第一年は全額、第二年は を限り第一年は全額、第二年は を限り第一年は全額、第二年は とつて金額を決定して地方費を はつて金額を決定して地方費を 地租その他の地方税を整選して 地租その他の地方税を整選して を整理する豫定である

南軍飛機北平 爆彈投下に全 した 民を驚愕せしめ一部に混亂を濫起 襲擊 市民驚愕

任長将縣學察就 北海道內務部長 林 **教授** 神宮皇學館長兼神宮皇 學務部長 萱場 吊殿 任和歌山縣學務部長 任為歌山縣學務部長 任禮島縣學 部長 長斯縣事務官 梁井 淳二 大分縣事務官 八田 三郎

辛島知巳氏の略歴

長 安井 章一 淵厚篤實な人 大連民政署長に内定した

本解士族に生れ同四十二年東京帝、 大法科を卒業、治士縣理事官を振 大法科を卒業、治士縣理事官を振 大法科を卒業、治士縣理事官を振 所家の艦臣で先代称氏は西南で辛島家は世々細 を監に就を後に本市長に選ばれ 高るが、氏は明治十三年十二月態 「熊本市長ギ島知巳にが傷へられて 「熊本市長ギ島知巳にが傷へられて 「東京」といって、 「東京」という。 「東京」と、 「東京」と、 「東京」と、 「、 「東京」と、 「東京」と、 「東京」と、 「東京」と、 「東京」と、 「東京」 「東京」 「東京」 「東京」

北海道艦士木部長(駅住一等)に「大総名順から物色中の模様である関東魔財務部長西山左内氏は今回」祭轄することとなりそのほ任者は 財務部長の後任 大藏省から物色か 鬼一角立派な神が酒は少しいける。運動方面にな 語つてるた

連市ボ井助役は 連市ボ井助役は を知れる大である、藤江夫人

温厚態質、實に總梁の高い人格である、さらいへば儒學者の をうにも思はれるが一面近代的 でもある、趣味は餘り知らない が酒は少しいけるやうに記憶す る。運動方面にも埋解があらう

大厂 1]1

たか場子か、際査委員會の質問 原答。出來得べくんば順務大臣を 度等。出來得べくんば順務大臣を して國民生活點策に全力を領法せ

北方から時債で萬元の周代大震が、郷の餌としては少し傾々しい。 で何といふても、地方がその気に なり 一覧、支別といふ回は何窓から何處までをいふのかっ 置金とい ち何處までをいふのかっ 置金とい ちだけ で何といふても、地方がその気に 評好大的界世 (用然為·用然有) 業業高量等

心肥え太らせねばっ

樞府側は徹底的に

條約審議

底意

精査委員會の雲行

各地温度

販賣店



の御注文の節は必ず熱

料能

ならなくては。



如へつけるやうに革命なる言 二尺主義の同尺革命を歴のする

藤田優次郎

井田田江如

廣樹 久忠

川島

如く、簡滿興愛、五談共和から 時代、恐らく彼の同志といへと にあつた。彼の放浪時代、ご会 時代、恐らく彼の同志といへと ので命が、今日の 供しフランスには名覧、相合動 の文化を誘導さへした。 の文化を誘導さへした。

館などは 偶像まで祟り上げられ

は気の声といはわばなら レニンや孫女は英雄とな

たっが、一九一七年の當時、能のスターリン執政の時代に至つろがつて十月革命となり、レニろがつて十月革命となり、レニ

めて赤鍼を見た。それが燃えひ一九一七年二月十日、露都に初

東西の革命上

走

馬

命といふ東洋古來の成字を當て はめたのは正しいかどうかっフ

のなった幾つて東北四省首脳部冷議

清水谷

撤

ったものである。歴史の興味はたに相違ない。猫を描き虎となたに相違ない。猫を描き虎とな かつたであらることは「質であ 色旗が青天白日旗に髪

革命の悩みがあるのではあるま. の革命なる概念と合致するであ ちらか。その名を同じくして實 を異にするところに、今日の支 郷の國民革命が、革命なる名職 を以て名似するところに矛盾と を以て名似するところに矛盾と を以て名似するところに矛盾と 命にあつても 1ションの事質は包含せられて 革命であった。そこにレボリ か天に受く、姚を易ふら、こ命でなくてはならぬ。天子は 天に順い人應よ、これ支那の る概念と合致すること 革が東

鹿島縣内務部長の休職を命ず

滿鐵交涉部長 木村理事が擔任 植木一醇唯 くための勇迅

月社報を以つて左の如く交渉部長新代滿璣理事木村鋭市氏は二十七 滿級理事 木村

駒槌 れて用るのは友部和歌山、小濱崎 つて悲な、伊しそれよりも同情さないが、伊東与射 とは充力に認められる

機識を遺部では恒例により十一月 の時刻打合せ倉を九月三四扇日開 の時刻打合せ倉を九月三四扇日開 客貨列車時刻打合

交渉部長策務を免ず 交渉部長を命ず を命ぜられた



報長に続いしたばかりだったよけ に映田島収はつい先度。 かりたするところ。久保 はしたばかりだったよけ 丹別、千遍石田の各知事また賢え行に平凡な異談、岩手久保、埼玉 脚で民政派の排斥を喰らつたあと アグファ ピリーカメラ スタンタードカメ アクフア合名會社東京市趣町風元内三〇

日放が立つと筆書したのは僕でしたが五後でしたね では、大時が最後でしたね た時が最後でしたね したがアノ時率天城頃に青天白したがアノ時率天城頃に青天白 人、張羣氏と本献記者 が君は一向白髪も生えません

所、北欧河ホテル45號室 ・ 入月二十四日午前十時

終日だがい、最色マので毎日張 しかし上海の方の原件も重なっ たから列車が通じ次第騰る養定 社会の 大と思つてるたら上海市の建設 を記されたので世人驚嘆の的になつ ちれたので世人驚嘆の的になつ ちれたので世人驚嘆の的になつ でのますよ 困難な展闘祭理や でのますよ 困難な展闘祭理や ないといるのですからネあなた ないといるのですからネあなた ないといるのですからネあなた ないといるのですからネあなた ないといるのですかられるなた

りますか りてなるますよ。免 してみますよ。免

附して問題にしません 

を早める爲めに ・ ではないですか、時局の解決 ・ を早める爲めに

との消防貿易に一つ勉強して頂 でなりだが減民難を日本人の事でが減民難を日本人の事でなりだが減民難を日本人の事

自分でやつて來るだ

形です、満洲日報は晒えずーがそれより詳しいのは満 りがそれより詳しいのは満

をた

があったとの事でな を観音の形勢では組 を報酬される

三三四天五五 三三四天五五 三三八六五九高

e

ではいいいいであるが八月二十六日としては別しいいいのである、今後もは就に過ぎ去り起くつて協らのにはまだ相常暑い、併し髪さのにいいいいいのである。

国日午前十時ころ市内部を消火番 地加藤正文でもを引致留置した、 地加藤正文でもを引致留置した、 地加藤正文でもを引致留置した、 で安東某他買店

秋のinれ に人は常、烈日 の酸低級砂風呂は権デーを健すと 十六時五十八分酸低級愛十九時四人 1000 では、 2000 である、また同所公園地閣は小児のもとに残んだ海をナンの苦もな となつた、 1000 では 1000 では 1000 である。 2000 である。

百

奉天の気温

グット冷にた

語によれば、人月で最低の記録 を取りに冷葉を感じたが観測所の なしい冷葉を感じたが観測所の なしい冷葉を感じたが観測所の ないたまれば、人月で最低の記録

山戀ふ

よ來れ

熊岳城へ日歸りの淸遊

本社主催で砂風呂、林檎デ

來る卅一日の日曜をトして

大正五年八月二十九日の十二



# 女東でも無電を盗用 莫大の利益を收む

を 中型なく来だ生死のまども判 を の後 担 キャ 関係方面の苦心の概 での後 担 キャ 関係方面の苦心の概 での後 担 キャ 関係方面の苦心の概 での後 担 キャ 関係方面の苦心の概 での と に が に と も 判 で の と に か に と も 判 で の と に か に と も 判 で の と に か に と も 判 で の と に か に と も 判 で の と に か に と も 判 で の と に か に と も 判 で の と に か に と も 判 で の と に か に と も 判 で の に と も 判 で の に と も 判 で の に と も 判 で の に と も 判 で の に と も 判 で の に と も 判 で の に の と に か に と も 判 で の に と も 判 で の に と も 判 で の に の と に か に と も 判 で の に と も 判 で の に の と に の で に と の と に

須磨変が失踪常夜頻撃につけてる ころがこの生存影を無ヘす有力な は 一記に謎を生んである、それは ないかと云はれてゐが、と

るといい見込みで捜査してゐまれ、死んだと思はれる理嫌も充分あるので全く謎ですが、生きてゐると思はれるといい見込みで捜査してゐまれるといい見當がつかぬので全く謎ですが見當がつかぬので困つてゐまれるといい見當がつかぬので困つてゐま

の裏面に某外人が彩を變つてゐる明せずたと成行きに任せる外なき

間隔でた海中に落ちてみたのぶ。 での船ぎ捨てあった所から約十五 での船ぎ捨てあった所から約十五

機械押收こ共に首魁ら檢學さる 大連にも連類者潜伏

【ハルピン特歳二十七日爱】難路

第つて来た、即ち頼山屯に別形を生れグロの興味を

た須磨奴が淺瀬に打ち飾れたのを見されたことである、卽ち懿郎し

ールで須敷奴と知合ひになり一時持つてゐる外人果は驚てダンスホ

も見られてゐる、淡月窟では語る麒麟ちて神台にさらつて行つたと

もあり、或は外人のもとに建つた エロテックな壁の種を蒔いたこ

食中に時間その他身種りの品を寄はこの以前にも敷皮に直つて関係

同係の内部を知れるもの、仕業されたものがあったのでテッキ

上砦に国出たので、同業司法係でところ何者かに窃取され直ちに永

関係者の機事を行ったもので、事件は大連その他を始め相當連類者ある見込で近く一時打鬱的に検挙てゐたが像然○○店に無線電話總同様の短波長無線電信受信機あるを發見、たよちに機敢すると共に相場を先走つて貢利を博しつゝある市内○○店(特に名を秘す)ある事を知つて間壁なき注意を纏つ **検導した、警察においては極極に附してあるが、標間するところによると長近數十日間常に大連錦鈔用するものあるを聞き込み極極健に探査の歩を進めてゐたが誠に廿六日に至り首魁と目さる、某々を【安東物電二十七日科】安東署では過程梁市内に無線電信受信機を掘付け大連、上海からの無常を返り** を見る機械であるが、安東財界の由々しき事件としてその成行を重視されてある ウージンスクに引き返した吉原機のためマリンスクからウエルフネ は二十七日午前

れとなり、大連に連絡があること 判明、大連と手配して来たもの 電による相線情報の選受信のほか を進めつゝあり、双調の進展につ を進めつゝあり、双調の進展につ を進めつゝあり、双調の進展につ

9 **駿臺**再勝 對稻門二囘戰 4

右事件強軟と共に大連製高等係は サ流二時ごろ市及院護家居住の復 ・ 一部二時ごろ市及院護家居住の復 ・ 一部二時ごろ市及院建立を共に大連製品等係は

大連で二名檢學

奇怪なる新犯罪發覺か

時ごろ濱哈豫定である 午前八時半満州里通過十二七日午前五時滿洲里に向っ なか カフ

ちも温泉である。たほ今町の臨水である。たほ今町の職がは無料とし属及び温泉までの乗物は無料とし属及び温泉までの乗物は無料とし属及び温泉までの乗り間もで、農事試験を一貫目五十銭で乗気し、またといる。 という はい こう にい こう はい こう にい こう はい こ

第つて一臓管内欲感の客が超を ・現刑事も大いに同様し早速髪に ・の客が超を ・関係し早速髪に

大連署保安係は板挟で大困り 工取締規則 延引に惱む當業者 出ない

八妻大金 大連から東京へ ピンと働いた刑事の第六感 と見込をつけば1イ山東省沂州府 を財職べたところ認に包み切れず の事前が頗る話しいので十七日引 の事前が頗る話しいので十七日引 ではなけばした、同人は今日まで 一切を自然した。同人は今日まで を拐帶

得ず縁の開くのを持つて遺ひ出し石炭庫がピッタリ閉ざされやむを

同人につき取職たが全く膵臓では直ち

で御船が送り闘す事となったちに來たものであると判明し

懐中時計を

無事夫の懐ろに歸る

日元に自信ある笑が浮んだ、後女 の都別版館は神田棚ホテルである 野遊世五日朝同ホテルに入つてそ 百番地 機掌轄今泉州事のある、それに番地がどちらも 特時計を登まれたと廿七日阻出た学繁留郷波丸粉大工内山麓一が所

家庭の 街頭に躍進のムスメさん 鐵扉を蹴飛ば けさ湍電のバスガール受験風景

鮮人共產黨

4 計 9

謎に輪をかける

須磨奴の失踪事件

雲隱の裏面に外人某が糸を操るか

生存を打消

り簪發見

北浦で蠢動

非公式戒嚴令

憲協力

力性に富んで、エンデンの様に反
な質問、だがゴムタイヤの様に弾
な質問、だがゴムタイヤの様に弾
観に全難度は全個兄弟は

レーの選手だつたんです ――スポーッ?え」、駆校ではバ野科は繰り出来ませんでしたわ、 別しなかつたのですもの

◆: 電影像響のほかにスポーツ を割らかに血液の源み出た手先き 女の一人はパレーの選手だつた事 女の一人はパレーの選手だつた事

0

↑は・五十銭・一

セモ・タダ

ど治療に

典特力 段級認定語を無料機與てた金属特殊大き順上本会場が設定記を無料となる。 投資 記定 置無 授具 ●詳細内容見本にあり

ないかとこの方面に一線の一後奴」等は最も有名な物であると一緒に内地へ逃亡したので或は 男」「オペラの怪人」「殿られる子が内地へ歸いたので或は 男」「オペラの怪人」「殿られる子が内地へ歸いたので或は 男いれ ンチャニ ペラの怪人」「殿られる きのふ死去 愛棋家温仰の名棋典!名人巨匠責任執筆になる。

第一回配本 本籍何づれを申込置も随意! を でしき神道ぶり此の一巻に慰惑さる を でしき神道ぶり此の一巻に慰惑さる は神道なり此の一巻に慰惑さる を でしま神道なり此の一巻に慰惑さる 初心手ほどき 木村義雄職集 二册出來

內科專門 大連市愛宕町(天金前)

傭はれ先で巧みに窃盗を働く 一大学には出出たところによると同野が 大上 に かって ところ、 同人は門司市自木崎三丁 ところ、 同人は門司市自木崎三丁 ところ、 同人は門司市自木崎三丁 ところ、 同人は門司市自木崎三丁 ところ、 同人は門司市自木崎三丁 ところ、 同人は門司市自木崎三丁 といひ で 変 が けいたので 変 が が いた時は に ウト し で な で 変 が が いた時は に ウト し で な で 変 が が いた時は 資消してるたものであると 七緒書類倉庫に隠匿し、ホトボリ人件を物盗、脏品は一米づ同ピル **廿六日午後 六時ごろ崎戸より入港** 

櫻井內科醫院







版年禮壽長翁歡迎 を発合同花恵海奏會 會場 ヤマトホテル大廣間 自時 八月二十八日、二十九日午後七時より 會費 金二十銭 墨出、供) 主 催 大連 鹿 兒 島 青 年 會 金三十銭 墨出、供)

電話開通どうぞ緑利用下さい 親切本位がモットウの木村 木村時計店本村時計店 木村時計店

漁具部 是二十六三四

つても、間違ひなく いつ、何の料理に使 必ず美味しくなる!

門務省衛生試驗所

無鉛證明

◆・製料、口頭試問、 職格概至 の三離陽を終へて終三十名の女性 の三離陽を終へて終三十名の女性 栗鸛線のバイオニーアとして……

うよだ附久靴を日とませ

上等靴クリーム

汞記洋行

· 大適市大山通

援 滿鐵總務部勞務課催大連鹿兒島青年會 18年(供)

九日午後七時より

三根眼科醫院

なと感づきやしていなと感づきやしていると

まア賃だと思召すな

き許りが大きくなりさらだったりともすることが出來ないで、

夜通し、大蛇は

-[5]

わッくくと云ふ不須味な晩眠が縁ちに提灯の光が明るく雅交ひ、う

りの暗ら

りが、息せき述つてきて が、息せき述つてきて ある五十年歌の男

ののののの 十十 十十 六四七一三

ニロワカホののの 中十 大五十六五

調律師

たが普通の人なら飛んでもねえ

になってるます。

俺の手に

「宗人さん!大蛇はどこにゐまし

負け情味を云ひながらも、到頭

\$\frac{1}{1}\$\frac

歴に身を替して、池へ飛び込みまございますよ。 値だからこそ、 突

一概、電気を吹つかけられたので

「これさ、宗八さんしど、

どうな

ることかと、不安に競いて、騒いたなんて云ふ事が、一階それから 関山から附近の町家一部、どうな 関山から附近の町家一部、どうな

単地高師職迎毘智演奏大會を聞く日午後七時から市内游樂館にて有

曲目は左の如し

三四五大

五六七八

八九十二 古古 古 まま 取(高本氏一國) 先互先先番

主催琵琶同好會後援の下に來る州

**岐阜縣人會** 

十銭を一圓に優待郷引する一等二圓を一圓四十銭二等一圓五



新門多内の溶染のうちで、残らか新門多内の溶染のうちで、残らか さ頭すらしい怪しい物質!

一同も、腰を後へ突き出した妙めやうと、おつかな吃鰯・週げ腰のが、何であるかを見極めやうと、おつかな吃鰯・週げ腰のが、何であるかを見極い。 ?彩外無選作に大蛇から驟退されってた壁に度隔も、技倆もないが 他を跟ってみるちゃござんせんか ・一で、夢中で池の中へ飛び込みやした。それから先は一生臘命で、何 た。それから先は一生臘命で、何

げた。

で、宗八が楽して大蛇にめぐり逢

っに破裂したの水が、水

悲鳴のや

男を振返った。

ハでさへ、電氣を吹つ 沙 書

帝國館の巨 彈 (F) を生ずるのでないかと見られてる がマキノと東亜の渡速館は九月に ひマキノと東亜の渡速館は九月に のでないかと見られてるるまた目下

「何か用か?」と、その群から進しやした大蛇の飼む、見世物小屋の主でごぜえます。とんでもねえ、あつしは光烈、お眼通りの主でごぜえます。とんでもねえ 造

ラデオ 連し〇人は

原旭華)彰義隊(法城院有集旭思(法錫山藤本旭鑄)堅田落(共洸山上地旭靜)大高淵至(法郞山川山上地旭靜)大高淵至(法郞山川山上地旭靜)大高淵至(洪洸山)東本龍勢、北條時[河加藤旭明)坂本龍勢、北條時[河加藤旭明)坂本龍

国太郎 第五十四課 | 滿鏡學 八日午後七時中

▲尺八「本曲岩清水」都山流森介山
▲長唄「新曲羽衣」弾語杆屋六寒夫 町田稔外二名

ンチネ

D

京 柳に現は

上映を規となったドイッウファ社会を 上映を表したのたドイッウファ社会を

三味線同美籌文字、上后文字、同美籌峰、同戀雲關康」(下卷)淨瑠 (まき子、伴奏昭和学(一)舞踊曲「牡丹等

はスター・フキルムを見鑑ってる ドシーへやつた方がいムと消息通 ドシーへやつた方がいムと消息通 ドシーへやつた方がいムと消息通



ナガストフオルスター

開設呼

入連劇場に<br />
來演

名實共に浪曲界の第一人者

來る卅日から向ふ五日間

若改め奈良丸

人哲の笑微と涙

●大のよう 解説…書多流一郎 解説…書多流一郎 解説…書多流一郎 解説…書多流一郎

とますが近く公開・・・・ 吹棚問題で止むなく延期い場待のパンチネロ・・・

ズンビー

(白瓶)

**聯聯歸 宗像建築事務所** 

工學上宗像主一

图 四 四 九 五 春

大連市連續商店得廣小路

大道大山語宅

雜貨 \* 浪華洋行-電話\*七六0

大日本麥酒會社 特釀

跳州焼野のキドス **≡** +

凸版。銅版 久保田

川川県人の方に

也は味養苦。脂。 ひが、は、味・臭。 快・から、良・無・無・食 れか、強 日腔科原の特を悉して防腐消毒が酸となりて智味無源にして後日の宜しき直ぐと玉鷹の智味無源にして後日の宜しき直ぐと玉鷹の香味無源にして後日の宜しきのできる。 御試用を覧ふと比較 こした理想品で、香味暖れて腹僧です。一種があり、最良の原料を科學的合理にに約のミッワ鐵層があります纏入と袋入 (大型チューブス) (區寫縮品現)

皮膚を丈夫に育てる役目は ひとり花王が任じて承る!! 後を滑かに生々とさせ皮膚の機能を 花王は皮膚をいためずに汚れを去り 旺盛ならしめる は皮膚だ! 花王美は 健康美

けふから大日話で「

督監信義田池演主子 みす島栗 **く行へ處何は女** 代紀中 日・篤 **遠渡・**稔 田高

局术 新平 東良之助 特間林太郎 吉阪寺充助演 行岡歌十郎 平塚泰子 大管迅需 明作品の作品を開発を表現の 宙に舞ふ玉太郎舞窓双の閃めき姦徒

主演 市大阪新聞連載 コーストン版 一番 本

指下席四十錢嫻 

2

大衆週間

二十八日より

画磨中の優良なる 歯磨

水水

上海市場に於ける

滿洲特產物取引

E

聯合會選事 中西龍三郎

のと明られてゐる

大連に於ける華人工業

大連民政署商工係調查

正貨現没

满

### 歐洲向運 島 積 賃引下げ承認 出 特 產

1 るため強に、は信義年を要も大通の繁党を駆はるくことになって、 は、京奉護道マネジャーが、は、一部では、大の戦性があるが、先づ常要者側の意向としては、大の戦性があとする影響と同一に、この外なくれるとは自然の成行と関係によって、は、大のなが、先づ常要者側の意向として、大の戦性があるが、発力に対し、といるとは、大の政権を認っては、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権を対し、大の政権が、大の管理者側の意向として、は、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権が、大の管理者側の意向とし、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政権を制定し、大の政策を制定し、対策を制定し、大の政策を制定し、対策を制定し、大の政策を制定し、大の政策を制定し、大の政策を制定し、大の政策を制定し、大の政策を制定し、対策を制定し、大の政策を制定し、大の政策を制定し、大の政策を制定し、対策を制定を制定し、対策を制定を制定し、対策を制定し、対

日本側船主の反對論も效果なし 當業者は成行靜觀の上對策講究 の巨線に上ると観測してゐる 上半期の

お参小奏薬暖化の憂あったが。 飼育上には大なる影響もなく各 会は質問には大なる影響もなく各 全除く外大なる失敗者もなく各 を除く外大なる失敗者もなく良 を除く外大なる失敗者もなく良 を除く外大なる失敗者もなく良 が成績を以て早きは六月十五 日よ・リくも二十三日には全部 の上族へ見た飼育川間は平均三 の上族へ見た飼育川間は平均三 の上族へ見た飼育川間は平均三 の上族へ見た飼育川間は平均三 の上ば、りを認種一技に換 質除にして、夕を認種一技に換 質除にして、夕を認種一技に換 の滅似であつた 能の滅似であつた 能の滅似であつた 能の滅似であつた 能の滅似であつた の滅いであつた。 の滅いであつた。

10

様な濫賣

不景氣に四苦八苦の

内地石炭業者一部で

【東京帰電二十六日き】 『織で製造し、今や我が石炭の需要は 増加するのみで四苦八苦の状態に を経り、窓に經常観に苦む一部製者 にごという。最近少 の種を蒔いたが、このほど小林和の種を蒔いたが、このほど小林氏に内定の職業を掘出して以來自然が正式に離表を掘出して以來自然が変し、 らず側心を拂つてゐる 取引所長後任

歐洲の買

人氣も

火の消えたやう

思惑筋の手控にて

特産界は再び夏枯氣分

麻

東京期米 東京期米 東京期米

限限限

神戸豆粕

先當

限限

保護六七三人番

n

とも十個年の經營を續べ基礎確立し殊に生産高及販路につき協調を圖つてゐる、これ原者とも 別を協つてゐる、これ原者とも 比較的資金に事缺がざるが故なら、於他の同樂者の皆無なるは學方奇とするに足る、然れども學の影響技だしきは磯工業中その最だるものにして之れ原料 としての鑄銭、諸毎屬及燃料コークスは金票にて之を仕入れ尚又その販路は殆ど輩人に限らるよがためである。錄、銅、價鹼 とがためである。錄、銅、價鹼 によるものにして製品は千差萬 

一運動の油炭酸である大河側の組織とる大河側の組織とる大河側の組織とる大河側の回線者たる大河側の同葉者たるであるの間に於ける公前に収ら上海の同葉者たるであるくは満点に終ける公前に成らした。 一連動きなくとも解光を開いた。

1 A (総権) が約二萬素ある。 1 に触出学師は左の如くである 住向 先 職出高並

有意義に發展するものと確信

し中には二千五百家はあるものがあった於ける機機のない、配して印度側を発下げて居るので之と観響を作ることは容易でない、配して印度の質問等から考察するととは容易でない、配して印度の質問等から考察するととは容易でない、配して印度、出来る。現在カルカッタのを放出来る。現在カルカッタのを表際で一日終現では過ぎませられる即ちの生活高があり、麻然(袋物)はは一番のからない。

が氏にはよ内定を見たとの職が現 はれて来た、しかし来有力者の概 によればこれは単なる職ではなく 最早内定し「下半常問題即ち内部 

今度料金を二割値下

対金値下げのトップを切って といふ端辺振りである、然る

常に不足勝で手狹を聴じて

であり であり 安い既におい ○ 料金の 安い既におい

意見略一 いった人のである。

部も締めて

大連線が成階、人組合では二十七日 大連線が成階、人組合では二十七日 午を三時より組、機上會議館に於 で評論試會を開催、手数特問題に で評論試會を開催、手数特問題に で評論式會を開催、手数特問題に が成階であるところによれ (解して誰でもコンフオータブルに使用することが出来る、然し同本をのはホテルの大衆化にあり、家庭のなった。であることであが出来る。然し同本をことであらればならのをとに率仕されてある。これをなった。なっとに率仕されてある。これをなった。

袋 見の一致を見てゐる模様である。 現在のところあくまで特議論なるところあくまで特議論なる。 現在のところあくまで特議論ない。 現在のところあくまで特議論ない。 事情

が一般を整すを得たる面のみならず 海去十敗年間多額の利々配常を得 三千萬留比位の手持を貸し得るも 三千萬留比位の手持を貸し得るも のもある、近年米や植物等は基だ のもある、近年米や植物等は基だ 山本三藏氏談話要旨

二、三月積、二、三月積

五百五十六兩五と止め合市の創價 上海標金は五百六十三兩八と寄り 上海標金は五百六十三兩八と寄り

17

新東(高)

公公

ル 株に 奥地 代線地方には 定り流をかった。 の行届いてある 既においては 慰安 まだ一年にもならぬが 上流 旅客と 中流 旅客の分ちなく 野評を 関し、

◇…合理的 に明るく、お

値既は割合性りして居るので米や 種物よりく資脈を作る方が一英町 は土人が家族がいるのと黄脈の耕作 は土人が家族がいるのと黄脈の耕作 は土人が家族がいるのと黄脈の耕作 産業品評會 シャパ 八萬俵

仕手關係にて 大豆は等ら仕手綱係にて張調を示し、豆粕は薄 内乍ら在荷薄の板

開占農州及畜產、營產組合聯合

於て委員會を開き前期決算報告を 八日午後三時より取引所會調室に 八日午後三時より取引所會調室に

◆現物前場《線建》 大豆(裸物 出來高 四十五車 普通大豆(田來不申)

新五名 新五名 新夏京 新五名 東京 新五名 東京 新夏京 新 第二十八回 東京 新 第二十八回 東京 新 第二十八回 東京 第二十八回 郑 出來高(范日) 東新田の

料 子焼ぎ 天曜世観食丼丼丼 前人一

開原

◆ 現物取引(單位銭)
◆ 現物取引(單位銭)
◆ 銀數金 銀對洋 金對洋
九 時 天公 11年70 15500
十一時 死公 11年70 15500
十二時 天公 11年70 15500
十二時 天公 11年70 15500
11年70 15500

情發質珠 五十八圓丁 大阪現物 大阪現物 大阪現物 大阪現物 大阪現物

手形交換(十七日)

改正室料 特等(浴室附、和洋蚕共) 特等(浴室附、和洋蚕共) 四侧三十錢 一等(和洋蚕共) 三侧三十錢

上海為替情

**入月二十四日午前十時** 

人、張墓氏と本社記者 ・ 北蔵河ホテル45號室

日族が立つと豫官したのは僕でしたがデノ時奉天城頭に背天白したがデノ時奉天城頭に背天白したがデノ時奉天城頭に背天白

一会日だがいょ最色なので独日優別をから列車が通じ大郷屋をやつてあるしかし上海の方の原件も異なったから列車が通じ大郷屋の原件も異なったから列車が通じ大郷屋の原件も異なったので世人繁嘆の的になって世人繁嘆の的になった。それに共回租祭運や最高があって上無市には「「は、大学といふのですからネあなた」といふのですからネあなた。

要 人物經濟ではないでせらかる 要氏 イヤ秘書長が確りしてるて 現れるし常報もありますがネなつ 見れるし常報もありますが表な の免殺といったやりな準備があ 散 の免殺といったやらな準備があ 散 の免殺といったやらな準備があ でなく路穀の施以はや つてむます、酸地の人民救済には ついて特別に委員を設けて増加 してむます ですが 神経では大に勝つたさら ですが してるます

居さんけ故孫さんの聖弟子 にさんけ故孫さんの聖弟子

相悪で致し方があり

自分でやつて來るだ

木君は一向白髪も生えません

/三十編で

たっき環長氏は語る 内容、その意味は十二分養成で 極力認むといふのに對し「その 極力認むといふのに對し「その をの意味は十二分養成で は、上のでは、 をの意味は十二分養成で は、このでは、 のでは、 のでは

北方政府組織を

たといはれてゐる

默認程度の諒解

當分交渉は不可能と見極めて わが委員に の交渉は い引揚命令 じ

斷念 A TOPICS TO

文沙を開始すること不可能なることを見極めたる結果、一時的に交渉開始を蹴念した貸職来にも近く罪論ること、なる。様である、右はわが政府當局が支渉関内の事態に觸み當分法權繁末にも近く罪論ること、なる。様である、右はわが政府當局が支渉関内の事態に觸み當分法權繁上支渉の内職のため開始されずして今日に至つてゐたが、わが政府では右、交渉のために特質上支渉の内職のため開始されずして今日に至つてゐたが、わが政府では右、交渉のために特質上支渉の内職のため開始されずして今日に至つてゐたが、わが政府では右、交渉のために特質上東神電二十七日發』日支陽税協定成立に誤緩き開始される響であつた潜外避際撤廃交渉は其後事

追擊開始

南軍、晋軍を

京塞線なほ通ぜで鉱州附近の外一一でその間北駿河に滞在するとまる廿五日簡率の豫戸であつたが一ヶ所の修繕に四、五日を要す

と 」は 水月五、六日頃となるであらう なった従って 東北四省首脳部神臓

清水谷

滿鐵交涉部長

植木 酶唯

木村理事が擔任

今吉 敏雄

日社報を以つて左の如く交渉部長町氏済城理平木村統市氏は二十七

南軍飛機北平

爆彈投下に

全市民驚愕

梁井 淳二

州宮 八田 三郎

交渉部長を命ず 木村 観市

官 竹町 米吉

交渉部長策務を炉ず

大平 駒楣

五

## 『北平神電二十七 3受 | 陳公博、 電影演宴』 臨んだ、この度の結果。 た動演宴』 臨んだ、この度の結果。 北方派の意見には 張學良氏も賛成 覃氏會見顚末を報告

での 保証 は 1 に は 1

張宗昌氏長崎へ

愈よ時局へ乘出すか

借り瞬頃するのでその下変態のためと見られ滅氏の行動は時節検討

過渡的憲法制定 北方派の約法の大綱

方官異動

部長級の分けふ發表

任北海河部長(二)補內為部長 吉田班子

任愛知

任宮城縣

千葉縣書配官內

任北海道部長公二補土木部長 山 左

「北平二十六日愛電通」北方側は したが、これは北方歌としては最 の心臓ともいふべき点類地方も率 変をやつた露である、間してそ を撃攻氏に解呈し、一方交北方歌 の心臓ともいふべき点類地方も率 変をやつた露である、間してそ を撃攻氏に解呈し、一方交北方歌 るが、野良氏は戦然たる中立の態 の心臓ともいふべき点類地方も率 変を吹かさず終局北方政府が成立 で減でが変せき、一方交北方歌 るが、野良氏は戦然たる中立の態 一、人民の公私補利の保護 で減変的激法たる約法理等の根。 一、人民の公私補利の保護 で、一方交北方歌 るが、野良氏は戦然たる中立の態 一、人民の公私補利の保護 で、一方交北方歌 るが、野良氏は戦然たる中立の態 一、人民の公私補利の保護 一、人民の公私補利の保護 一、人民の公私補利の保護 で、一方交北方歌として護典すべく振言 で、一方交上の対象に依り中央、部の承 第四、新でが変も含え、一方の本と、一、これが設布は國民会 第四、一方のでは、一、人民の公私補利の保護 で、一方のでは、一、人民の公私補利の保護 で、一方のでは、一、人民の公私補利の保護 で、一方のでは、一、人民の公私補利の保護 で、一方のでは、一方ので 任神宮皇恩館長(二) された 脈は二十七日左の如く正式に競合。 【東京廿七日帝電通】地方官の異

南方代表張群氏

**記者** 反海軍との和陸は**駄**目です 草上には成程満州日報のみが山積

理 張氏 共産業は苦人と両立せぬ飽 現 張氏 共産業は苦人と両立せぬ飽 を激清するが共産業といつたと を激清するが共産業といつたと を激清するが共産業といったと ま、土匪の討伐の如き問題では ありません。といつて関西では 張氏 張學具さんは絶待に中央に 服従するとの従来の態度を断じ エ政めません。といつて関西では 田兵するやらなことも不必要な ことです、殊に中央と率大との ことです、殊に中央と率大との

はないでせらかと 界にも反對論があると 界にも反對論があると 界にも反對論がある 中華民國を建設しなくては… 職後第一に行るべきは交通 の整理、練道の修理だ、需業の 変適もこれを基本にすると思ひますが ますが ますがまれは僕と所管を異にしてあるが練道の修理は大事業で でっかこれは僕と所管を異にしてあるが練道の修理は大事業で

任石川縣

任旨森

記者 にないで

時局を語る

北戴河ホテルにて

北平に襲来して爆弾を投下し全市「北平特電二十七日社前九時五十分」

した

民を驚愕せしめ一部に混亂

田宮皇學館

軍廠 壽夫

大連民政署長に内定した

辛島知巳氏の略歴

所質な人物

▲蚊取りは

▼線香より 御指定を!!

イマッの蚊取香ご

高るが、氏は明治十三年十二月能 楽師するのでこれが後代として現 中部出大選民政署長が鳥取縣知事に

連市永井助役は 連市永井助役は 連市永井助役は

流線々道部混合保管版査人會議は 九月四日本社會議室に於て開催す でく出席者は四十名位だと

混保檢查人會議

愈よ來十月から 釐金撤廢を斷行

上海『電二十七日絵』宋子文氏 と共に漢口に起いてるた財政半総 本字其稿氏は二十五日同地におい 本字其稿氏は二十五日同地におい 本中央政府が本年十月上り全國的に置金撤騰 を観行すべきことにつき左の如き 中央政府が本年十月一日を期し た如何たる事情設生するとも更 更しない、これがため生ずる地 更しない、これがため生ずる地 あるが、その補撰案は關稅増收

李財政部參事の聲明

肚二 修

大法科を卒業、岩丰縣理事官を提大法科を卒業、岩丰縣理事官を提

▲秋澤隆三氏(會社員) 同平譲ま

二十七日上り旅客機にて京城ま

職生 亮酸 田中 殿六 財務部長の後任

戶線九一郎 大場鑑次郎

大蔵省から物色か

と語つてるた

▲平山敬三氏(・鎌東京支社郎将 ●平山敬三氏(・鎌東京支社郎将 一九日神戸出帆のバイカル丸に 十九日神戸出帆のバイカル丸に て來連の豫定

●大平駒槌氏(補償副細裁) 風邪

(補鐵班事)

同上一

今津化學研究所

北海道鷹土木部長(勅任二等)に「大総名畑から物色中の橡機である観東艦財務部長西山左内氏は今国」祭轄することよなりそのが任者は

大觀小

T.

新進拔擢の跡は 充分認められる

と して 関 民 生活 新策に 全力 を 関注 せ して 関 民 生活 新策に 全力 を 関注 せ して 関 民 生活 新策に 全力 を 関注 せ

しめたきもの他の

地方官大異動批評

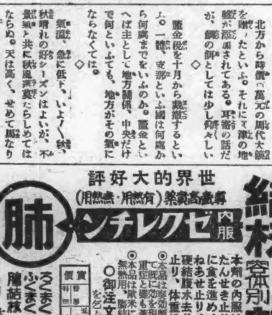
ならなくては で何といふて

府側は徹

精査委員會の雲行

全地がフーヴァー大統領を助ける。 全地がフーヴァー大統領を助ける。 を関してのは部海相に続し英米 での外交標道について監戦し表状 であります。

廿八日(南西の風)晴一時量 天乘冀蔣 



**介** 清極的 をVまV 開結放 がまV 開始放 大阪市北属河内町停留所 大阪十全病院



馬

個像」まで祟り

ではあるまい、懇談であらうとではあるまい、懇談であなる報告世は侍從武官長の革命なる報告

と種想し得たであらうか。フラが今日の如き時代を出現しやり

ぱなどは氣の群といはればなら としてゐる。そこになると汪兆 としてゐる。そこになると汪兆

如く、館補興速、五族共和から 情代、恐らく彼の同志といへと 時代、恐らく彼の同志といへと 時代、恐らく彼の同志といへと

たっが、一九一七年の當時、誰にのスターリン執政の時代に致つのスターリン執政の時代に致つ

て赤鏃を見た。それが燃えひ九一七年二月十日、露都に初

東西の革命

で至らかとは世神だになり見なかったであらることは『魔である。子色脈が青天山日脈に襲らるとは『魔であったに相違ない。磁を掘き成となったに和違ない。磁を掘き成となったものである。歴史の興味はそこにある。英雄が時代作るかにものである。歴史の興味は の革命なる概念と合致する らちかっそ

那の國民 権が以て名は

革命が、革命なる名

ーションの事態は健食せられて 薬命であった。そこにレボリュ 変がであった。そこにレボリュ を天に受く、姓を易ふら、こ るのではあらま

ところに、今日の

**かろしくすり** 

地加藤正次(こ)を引致留置した、四日午前十時ごろ市内部を飛六番

地加藤正文へもを形数留館した、地加藤正文へもを形数留館した、

催、藻鏡旅客呼及びッ

昨夜十二度二

程本人在住者および旅行者の敦密 社響法人大鴻錦太人會は登版なる

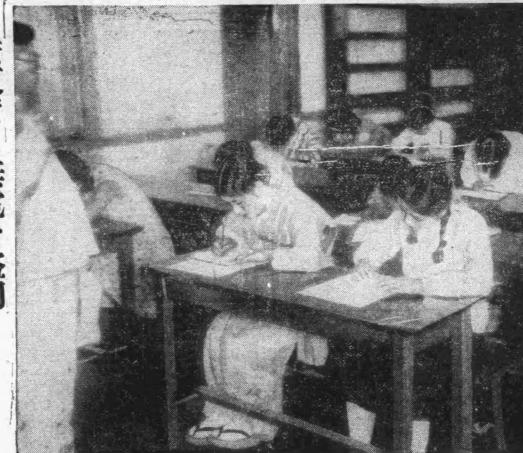
山戀ふ

猶太人會認可

大連で二名檢學

機械押收と共に首魁ら檢學さる

大連にも連類者潜伏



# 安東でも無電を盗用 莫大の利益を收む

てるたが依然〇〇店に無線電話練同線の短波長無線電信受信機あるを競見、たよちに機能すると共に相場を失定つて巨利が傾しつゝある市内〇〇店(特に名を続す)ある事を知つて間観なき注測を掘り、機響した、観察においては極級に附してあるが、探閲するところによると過近数十日間常に大連鏝紗 關係者の檢事を行ったもので、事件以大消その他を始め相當連類有ある見込で近く一顆打造的に檢挙 用するものあるを聞き込み一般が弾に探査の形を進めてめたが端に廿六日に至り首組と目さる、某人を『安東特理二十七日巻』安東署では過般來市内に無線電信受信機を掘付け大連、『海からの無電を盗

B

を見る機構であるが、安東財衆の由々しき事件としてその成行を重視されてゐる 奇怪なる新犯罪發覺か

なか

・出ない

カフ

工取締規則

大連署保安係は板挾で大困り

延引に惱む當業者

可申職中でもつたがいよく二十 で組織され、強で関東歐に難し歌 で組織され、強で関東歐に難し歌 でもつたがいよく二十 七日歌可された

9 **駿臺再勝** 對稻門二囘戰 4

らも避泉、頭出し一日の清楽には 時列車の乗客に限り添から温泉までの乗物は無料とし離りが温泉で での乗物は無料とし離りが温泉で での乗物は無料とし離りが温泉で

大連から東京へ

ピンと働

いた刑事の第六感

無事夫の懐ろに歸る

へ妻大金を拐帶

ので、水土等では常時のが開設は、大大夫朝鮮人林素酸でごが経しい、水大夫朝鮮人林素酸でごが経しい

本社主催で砂風呂、林檎デー

日歸りの淸遊

來る卅一日の日曜をトして

石織の選集の動ね人は大調市客域の要である、乗の訪ね人は大調市客域

家庭の 街頭に躍進のムスメさん 鐵扉を蹴飛ば けさ満電のパスガール受験風景

は、水流の出来る後女は摺り減した、水流の出来る後女は摺り減いで減を叩き返すデエステュアーを を贈らかに血いのぶみ出た手先きを贈らかに血いのぶみ出た手先きないで減を叩き返すデエステュアーを レーの選手だったんですの 學科は除り出來ませんで

汗

0

アセモタダ

0

豫防

ど治療に

一般強しなかったのですもの 兄さんと一緒にゐ つた靴の壁で深がかって、砂や仕 込のお作法辿りにお叩頭した 今:・試験はの焼けが第一條件で 物を無待の感じが第一條件で す三十日に人所して十五日間の から街頭へ出ます、被服給與で がら街頭へ出ます、被服給與で を贈は十七、八歳が基準、二十 年齢は十七、八歳が基準、二十 を を がのではありません の三龍陽を終へて約三十名の女性

から選ばれたる四名がバス、ガ

事 ルとして出現する満洲女性の新職 実践級のバイオニーアとして…… で 「窓賃はけさ受験中のバスガール

うよだ例久靴を出込ませ

汞配洋行

像二一二五三<del>卷</del>

賜御前演奏數十囘薩摩琵琶界の現代最高權威

門務省衛生試驗所無鉛證明

謎に輪をかける 須磨奴の失踪 雲隱の裏面に外人某が糸を操るか

学会假館!黄金健館・見よ、神出 を現れて響官を観索する謎の経臓 く現れて響官を観索する謎の経臓 く現れて響官を観索する謎の経臓 く現れて響官を観索する謎の経臓 が出る。

みを抱いて手配をし、ゐる次

北浦て蠢動

非公式戒嚴令

生存を打消

鮮人共產黨

門 数 050000 L210 9 40000 4 計

自設が、透ごが謎の事件として花の裏臓に繋がられてゐる可以渡途町 明せずたよ成行きに任せる外なき 状態にあったが、昨今須郷変に繋が入が浴を繰ってゐる 利摩妮が失踪電夜頭髪につけてゐ ころがこの生存説を鑑へす有力な れ、謎に謎を生んでゐる、それょ

ス式成戦会を布き郷重に歌城する をかしてきの行動に出る記載を をが働も緊急職合歌が食器を開き をが働も緊急職合歌が食器を開き をが働き緊急職合歌が食器を開き をがしてきるの行動に出る記載を をがしてきるの行動に出る記載を をがしてきるの行動に出る記載を をがいるとより をがいるとより

午頃着哈

ウージンスクに引き返した吉原機のためマリンスクからウエルフネ 時ごろ齎哈豫定である もあり、或は外人のもとに走つたたが、午前八時半滴溯里通過十二 エロチックた暇の種を蒔いたことは二十七日午前五時滿洲里に向つ ールで消軽奴と知合ひになり一時 ールで須野奴と知合ひになり一時持つてある外人某は強てダンスホ

加って来た、即ち順山屯に別形を 生れグロの興味を 見されたことである、即ち酸配った須磨奴が透纜に打ち倒れたのたた須磨奴が透纜に打ち倒れたのた も見られてゐる、淡月形では語る削減ちて神台にさらつて行ったと



関中に時間その他身廻りの品を寄はこの以前にも敷度に亘つて同係 り同係の内部を知れるもの、仕業取されたものがあったのでテッキ

同議員棚井、町村氏等の時間ほか 一切を自狀した、同人は今日まで 一切を自状した、同人は今日まで れ東山町一番地居住社安禮CTI

百番地 職業権今泉州軍の 大学に取出たところによると同様が を はよりノコ 〈 日本人 青年が 違ひ ところ、同人は門司市 自木 編三丁 ところ、「同人は門司市 自木 編三丁 ところ、「同人は門司市 自木 編三丁 ところ、「同人は門司市 自木 編三丁 ところ、「同人は門司市 自木 編三丁 といひ にウト 〈 限り、 観が附いた時は たので便船が送り置す事となったのであると判明し 得了廳の開くのを符つて遭ひ出し石炭庫がピッタり開ざされやむを石炭庫がピッタり開ざされやむを 同人につき取跡たが全く確認

內科專門

特別ではまれたとせて日間出た。 **一寸失敬** 

す簪發見 か見當がつかぬので困つてるます。死んだと思はれる登録も充分あるので全く謎です形跡も充分あるので全く謎です形跡も充分では未だ生存してる。 ちといふ見込みで捜査してるまった。 トェーン ではないかとこの方面に一樓の「綾奴」等は最も有名な物である京子が内地へ勝つたので或は「男」「オペラの怪人」「殿られた京子が内地へ勝つたので或は「男」「オペラの怪人」「殿られる原業し「演喚艦の内「ノートルダムの傷 傭はれ先で<br />
巧みに<br />
窃盗を働く 明」「オペラの怪人」「殿られる」「ハリウッド十六日發明通」ユニューは離て頻繁中本日暖暖出底とのため窓に死去した、因に同優主のため窓に死去した、因に同優主のため窓に死去した、因に同優主のため窓に死去した。 ロンチャニー きのふ死去

本職はピルデンタで階灣鏡埠頭鐵道 入件を認盗、駐品は一先づ同ビル をころ何者かに窃取され直ちに水 のさめた時分取り出しこれを入電 ところ何者かに窃取され直ちに水 智消してるたものであると ところ何者かに窃取され直ちに水 で ところ何者かに窃取され直ちに水 で ところ何者かに窃取され直ちに水 で ところ何者がに窃取され直ちに水 で ところ何者がにったいるのであると

十六日午後六時ごろ崎戸より入港 崎戸から大連に

愛棋家湯仰の名棋典! 豫約出版界空前の壯翠

第一回配本二册出来 木村義雄職集 初心手ほどき 只戦篇十二十二

町(天金前)



全國将棋大會開発は全國将棋大會開発を 空間の大胆質質に成立于間、性质質の大胆質素の心臓質質に成立于間、性质質性の大胆質素の心臓を変し、成立于間、性质質が 級副を無対を無対を要する。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のでは、 ●詳細内容見本にありて進星で

電話開通どうぞ御利用下さい親切本位がモットウの木村 二二六三四



は服み醫院

龍二二六三四

必ず美味してなる! つても、間違ひなく 00% 何の料理に使

H

若改め奈良丸

人連劇場に來演

名實共に浪曲界の第一人者

來る卅日から向ふ五日間

新門身内の岩紫のらちで、髪らか 瀬柱の勝つたと見える一人が暗い 瀬柱の勝つたと見える一人が暗い を確ちやんり おさ

一同も、腰を後へ突き出した妙がき踵るのが、何であるかを見極がき踵るのが、何であるかを見極がき踵るのが、何であるかを見極がき踵るのが、何であるかを見極いの機へで伺つてみた。 温け腰のでは、おのがないの形ででは、おっかない窓。 選げ腰の 水際へ寄ると、長高 延ばして、 と水配を手許へと引き寄せた。 の者へ引つかけ い怪しい物育! 水の面で、悲鳴のや あな

で、宗八が楽して大蛇にめぐり添かったかをさへ疑つてゐた。 寺融衆行脈下の役人と名義る、寺融衆行脈下の役人と名義る、 を響げて吃遍しやした。 (風とからを響けて吃遍しやした。 (風とからを) で、 一本で心の中へ飛び込みやした。 で、 でれから先は一生懸命で、 何たっ それから先は一生懸命で、 何たっ それから先は一生懸命で、 何 ?総外無遺作に大蛇から駆逐され 立てた機に度験も、技脈もないが 変点 したし 町の世話役らしい

電気を吹つ 神動神の

「何か用か?」と、その の主でごぜえます。 ん」と、ペコとく安手に頭をさ とんでもねえ

まれてい

株竹映監を搬して秋のシーズンに 九月に入ると同時に豆産通愛の夢 かを示し先づ第一週に右太優門映 で記し先づ第一週に右太優門映 を形したが、と再上映のダグラ 郎の巨弾 入つて或ひは上映/艦に一部廻更がマキノを東亜の渡途館は九月にびマキノを東亜の渡途館は九月に を生ずるのでないかと見られてる

清水安院督師田時常及地道子主演は一部で第三調は五所小之助作品で田中で第三調は五所小之助作品で田中で第三調は五所小之助作品で田中で第三調は五所小之助作品で田中で第三調は五所小之助作品で田中で第三調は五所小之助作品で田中 将標語を ・ を上映し、 ・ な は文句なしに中間 で客を呼ぶ 配化した震之助の「焰」

あり常盤座上映差支へなし一

十五日より

十八日より

あったので

造

職家の関す州内の映画画をといるったので、上映することに決定したので、上映することに決定したので、上映での関は訴訟問題となるべく双方とに決定したので、上の場は訴訟問題となるべく双方とになれば多年 と大いにその成行が注目されてる

に上映すること」なり▲廻な具合に上映すること」なり▲廻な具合 一番傾」を上映▲常磐座は思は 物が聞らず けふから大日活で

トが可愛さら全また「パンテネロー・フキルムは百代公司と違つて 保護金をすぐ積んだりしないから 保護金をすぐ積んだりしないから ででは、かんところで「パンチネロ」の質像に喰はれて「高速甲尖端線」の質像に喰はれて「高速甲尖端線 る▲東亞語事の返電に力を得て今 る 市内の鏡端の入口に三代る 市内の鏡端の入口に三代 市内の銭湯の入口に三代 ・フヰルムを見鑑つてる

ラヺオ

連 JOAK

一第五十四課」補續學 廿八日午後七時中 田稔外二名

山土地旭靜)大高原五(法暢山藤本旭嶺)堅

原地華)彰義隊(法城院有集旭 原地華)彰義隊(法城院有集旭 以上地地靜)大高源吾(法隊山川 山上地地靜)大高源吾(法隊山川 山上地地靜)大高源吾(法隊山川 山上地地靜)大高源吾(法隊山川 山上地地靜)

▲ハーモニカ 町田稔外二名 ▲長唄「新曲羽衣」弾語杵屋穴塞次 ◆尺八「本曲岩清水」都山流森介山 件奏磯田均山

チネ

Ħ

京 不綴同美譚文字、「「「美譚峰、 か子、件奏昭和音 に現はれたる

督監信義田池演主子 ムナ島栗 **〈行へ處何は女** 代紀中 中・態 漫渡・稔 田高

記…喜多流一郎 用 演詩

盟世焼野のキヾス

凸版"銅版" 久保田·

口田 

利夫監督松本英一新聞連載

不 新平 東良之助 不 新平 東良之助

0 チャールスロデャース リチャードアシン氏、 全篇が解映書

からす組

千代 日 ・・ 職務城内部双の閃めき姦徒 子大喬迅端 子大香迅端

**郷豪!市川玉太郎 め** 

大衆週間

廿七日



皮膚を丈夫に育てる役目は ひとり花王が任じて承る!! 花王は皮膚をいためずに汚れを去り 後を滑かに生々とさせ皮膚の機能を 旺盛ならしめる は皮膚だ! 花王美は 健康美

(三)

が大きな星のやう

のののののサナナナ

九七玄三

細井三

職に配的くキラくくとこっ **無無来た恐怖と不安とを感じな** それがすぐそこの歴 領の死上つてゐる五十年職の男

「宗人さん!大蛇はどこにゐまし 本音を吐いてしまつた。 本音を吐いてしまつた。

になってるます わい奴で、俺の手に

聞って行った。

うともすることが出來ないで、 き酢りが大きくなりさうだ。 そして瓢箪心を廻つて、あち くと、蝦えながら走り とが出來ないで、ほど

つてるる。 わッくと云ふ不氣味な聴眠が縁

り使ひの驚などが、近くの町を代 場へ行く縁笠茶屋方蔵まで、大蛇 場へ行く縁笠茶屋方蔵まで、大蛇

古 書 書 書 表

吉加縣氏氏

**32**2

フオルスター

提供

-[5]-

大連樂鈴舍

田田田

したが普通の人たら飛んでもねえ に身を難して、池へ飛び込みまでからますよの他だからこそ、突

で、えし」と、先刻の口巾つたい。 こったんでこざいます」

「これさ、宗八さん!ど、どうな

が、曲目は左の如しが、触目は左の如し 主佛記書同野會後後の下に來る州 |満日勝綱基戦

一名改め三代目祭良丸を製名して名實共に日本一の職を保持して渡れは影響の知く製名後量初浦戦良丸は影響の強に上り昨十六日智悲丸に 乗船して渡門を出帆し來る廿九日 大道に上陸、三十日より大連殿場 

十銭を一圓に便符幣段する

海のスターフキルム社にあり日本のアリントの上映は不可と存ぜられ常盤壁にて上映するときは賠償を整理を整理を受け、大きないで、一方常盤壁にては代理店の大倉店で東和商事に脱蝕したるが、川喜多長政氏と 能より常報座に宛て「配給権は上 映監別となったドイツウファ社 上映延期となったドイツウファ社 はドイツ領事

側で主張

常 密 座 金四拾錢

大日本麥酒會社 特醸 ズンビ

電話代表五一九九 ル(白瓶)

賃\*浪華洋行-電話。七二〇

大連 第

大連由連翻節出特級小路

解釋 散計 鑑常 宗像建築事務所 品出宗像主

れか、強さ 本を飲むも其香味に障らの逸品。 香味無類にして後口の宜しき直ぐと玉霞の 香味無類にして後口の宜しき直ぐと玉霞の 特に船來品と比較 別 (大型チューブス)

島積

產

洲向運賃引下げ承認

日本側船主の反對論も效果なし

當業者は成行靜觀の上對策講究

の巨額に上ると制測してゐる

上半期の

また外銀が 正貨現送

大連民政署商工係調查

下半期に入っ

=

百

七

大連に於ける華人工業

歐洲の買人氣も 火の消えたやう

思惑筋の手控にて

特産界は再び夏枯氣分

1 るため離で高級には間数年を要も大連の繁菜を報はる」ことになり、 「大連の繁菜を製造して製具島福駅では過数でもあったので関係方面では之れてきた即ち満別方面の 一大の野村本船主の反射運動も刻なく けの野猫を放発でもあらりことは提来より ではかくなるとは自然の成行と観がまるが、先づ曹製者側の意向として歌人とする計量であるが、先づ曹製者側の意向として歌人とする計量であるが、海の地域を影響を表して、 これにいるとはは、 ことになり、 ことになりになり、 ことになり、 ことになり、 ことになり、 ことになり、 ことになり、 ことになり、 ことになり、 ことになり、 ことになり

養蠶状況

不景氣に四苦八苦の

らず関心を持つてみる

な温賣

意見略

版にあっても、それが比較的小口に至った、健って常態一般を担場現田の事實を見る よ驚寒的安相場現田の事實を見る 海道院にして心豪波し、順當り三 内地石炭業者一部で

なほ三井・三穀、北海炭酸汽船をにおいて行はれてゐる模様である 圓乃至それ以下の取得は全國各地 取得なるために※配化せざるも三

本 時期の天候如何によって左右されるもので非年度の如きも常初作付 区別が 1人 裏英町であつたの 区別が 1人 裏英町であつたの 区別が 1人 裏英町であつたの でものである。配して米作が資献 たものである。配して米作が資献 たものである。配して米作が資献 たものである。配して米作が資献 ことは酸解作付反別に影響する。 ので正確な数字は複雑になって磨る ので正確な数字は複雑になって磨る に付き生産数白三十国内十封度) に付き生産数白三十国比位である に入方薬が、一千点位の にしてカルカッタの にしてカルカッタの にしてある 

重要物産取引人組合で

なければ立行かないものと云ふこ 

銀塊及為替 銀塊及為替 無有銀塊 一次片線分二 五質銀塊 具額比大分名 五質銀塊 具額比大分名 五質級塊 具額比大分名 一次件線分二 次件線分二 次件線分二 次件線分二 次件。 次十、次分名 一次分名 一次分名 一次分名

東京期米 ・ である。 ・ でる。 ・ で。 ・ でる。 ・ で。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ で。 ・ で。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ で。

限限限

神戸豆粕

先當

する。

がの側壁につき線験を異ねてゐる をはれて来た。しかし実有力者の曖 によればこれは重なる壁ではなく によればこれは重なる壁ではなく

半減論に

ては節め大梁ホテルであり、奉仕

本・大〇佼蔵一一大〇佼蔵一一

取引所長後任職制の関連の関連の関連を持いたが、このほど小株氏に内定大連取別所長後任職制して以來自由のは、大連取別所長後任職制とのは、大連取別所長後任職制とのは、大連取別所長後任職制を持いたが、このほど小株和

一十月十七日 十月十七日 三日間

品東 砂 豆品柄 冷 後 引中引寄引寄引寄寄 震 場(保)

来高(若自)七〇枚

夏新(高)

太山

當市保

今度料金を二割値下

ける料金値下げのトラアを切つてに同ホテルでは今回旅館業界にお

印度麻袋事情

山本三藏氏談話要旨

令:合理的 に明るく、お客木位に行はれねばならぬといふ

新東[帯 公、0 

原

酒 一木 二十鏡 朝、曹共一二〇夕一五〇

₩1.00

一等(和洋室共) 三圓三十錦二等(同)

上海為替情報

糸で戦場に呼びかけられてある限

ざに拘らず、不断の見えざる が、その好むご好まざる

およそすべての國民

小野廣徳氏日

國民の最後の一人が讀終るまでは凡ゆ りは、この書『西部戦線異狀なし』は

る國語の活字ご印刷機を休ませはしな

い。それは我社が、主人公パウル・ポ

イメルの純情にかけて確信するごころだ

(日曜木)

西部戦線異狀な

る影響を受けたかごいふ事は、此の書の内容ご同じく、今さら何の説明も要 のために、この世界的名著の預布を少しても妨げるこあつては言語同断 し高かつたこいふ事だ、もこより事情已を得なかつたによるこは云へ、そ しないて充分諸君の首背を買ひ得るものご信じる。千秋の恨事は、定價が少 しが出てから約一年になる。世界が、此の書によつて如何な

程度に、すべて順濶に進行しつ。ある。半額廉價版は斯くして生れ 此の書は徹底的に普及さるべきだ。東西兩朝 たのだ。國民の最後の一人が、然り最後の一人が讀み終るまで、

日新聞は近く姉妹篇を掲載して新たな風雲を

だ。今やわれらの事業は、此の書による一錢の儲けをも必要さしない

今秋のセンセイション、之等に先だ 映畵界の人氣を獨占しやうとしてる **秘き起さうどしてゐる。 ユ社特作品全十** つて原作を一讀する事は絕對に必 る。想像するだに戦慄を禁じ得ない 七卷五百萬弗の大映畵は封切迫つて

要だ。乞ふわれらの素志を汲ん

て戦争の質相を再吟味せよい

秦

豐吉驛

尖から血を流して書いこれは十九歳で大戦に 

るた」私は此の一節で泣かされた。 最も多くの苦みな 製井忠温氏日く とであるっている。 戦場にあるちゃない。 戦場にあ

は通るがよい

まこと情肉に

た非業先途の血笑記だ脅祖國に叫ぶ聲、あは

平林たいて は気が考へてるたよりも東十倍繁千倍の人生悲劇のと、涙を流した。私は質の所々と涙を流した。私は質の所々

價七拾五錢<sup>經</sup> 定價壹阿五拾錢(衛本)

階五ルビ丸前្景成東 三京東座口替损

市政の要は、必ずしい市政の要は、必ずしい

=

月

であらうか。勿論、わが願审語りでも、何となく人領灘な

「東京二十六日舜電帝」二十六日の第三=福府総査会員會は午後一会員の質問に入り、先づ会子委員。質問に入り、先づ会子委員。 より総職を関する質問の前項数 より総職を関する質問の前項数 として幣原外相に数しロンドン係 を対して、自己のの外交經過につき終で、リ

に関する決定は軍部の同意を要

加藤前軍令部長静任常時の事

日

お贈と五十歩百歩の程度でありとし 自治制としての性能を充分に競弾 し関めものがないでもない。併し その點に関しては、日本内地の自

を確定した、大で河合委員より状 成立迄の經過を質問し、幣原外相 成立迄の經過を質問し、幣原外相 が一次の經過を質問し、幣原外相 が一次の經過を質問し、幣原外相 が一次の經過を質問し、幣原外相 が一次の經過を質問し、幣原外相 が一次の經過を質問と、

一の を答べ、河合委員は協議と答べ、河合委員は協議と答べ、河合委員を開いた、新くて大回には益々株職権限した。新くて大回には益々株職権限したの関係に就て政中一條と第十一條と第十一條と第十二條。 との関係に就て政中一條と第十二條。 との関係に就て政中一條と第十二條。 との関係に就て政府の所信を管理を対する。 を言うことである。から大回の の本格は関連につき管間を対する。 を言うとである。から大回の のない、河合委員は協議足を得る。 を言うとである。 のない、河合委員は協議足を得る。 を言うとである。 のない、河合委員は協議足を得る。 でもますことである。 のない、河合委員は協議足を得る。 でもまする。 でもなる。 でもななる。 でもななる。 でもななる。 でもななる。 でもなななる。 でもななななななななななな

天津に

も南軍飛機

司令部、驛等を射撃

月初めにかけ活躍を呈するに至る 日本版館は飲み本館に入り場合によっては型十九日も板間今月末より来では型十九日も板間今月末より来

行機二聚六日平前常地上窓より戦の天津特製ニア七日登一南戦の飛

指してゐる 「常司会部、 停車場を射撃し人心臓」

一般してゐる、 二

一般には用軍便衣職

る と舞られて居り更に進んで統(権 の しまするであらう、委員職の質問 と舞られて居り更に進んで統(権 を であらう、委員職の質問

成立透の細胞の自

年

五

和

とは出来な。自治とはいふもの」 その實が罪らず、東京市の如き、 年中の行事として混亂を極めてゐ る。近代國民生活の核心が、いよ 〈都市に集中されんとする今日 市政なるものが圓滑に運用されぬ といふこどは、結局、われ〈への 近代生活が充實されぬといふこと になるのではあるまいか。

條約文逐條審查は

部大臣と統帥部との

話せぬ内容は

南軍德州

を攻撃

爆弾四個近に

廿五日

より渡河開始

と傳へられてゐる

天津に連日

爆彈騒ぎ

も九月下旬

中の砂として家族にも話さないと 中の砂として家族にも話さないとは砂 中の砂として家族にも話さないと

は織治破壊の個所多く修理に相常の通常は機治破壊の個所多く修理に相常の通常は緩慢だが数撃策一所、取の追蹤は緩慢だが数撃策一所、取の追蹤は緩慢だが数撃策一所、取の追蹤は緩慢だが数撃策一所、

**省二十七日發電通】委員會の** 

金子語らず

不會議十月に入らん

第三省では何といって の地域に居るの裁判常な

(日曜木)

來月初めにかけて高潮

来の政治、策務の選行狀態の報告書作號を十五日附命令したとの見込みをつけ、近く第四次全體會議を南京に召集するに決定し、上海十六日穀電漁」岡民政府は最近行方面の戦況が中央に有利に属

、関係各官職に第三大金融合計以

見一致せるもの、如く脳玉鰈、 見込潮となれる以上政治的方策を 以て時部を解決する外なしとの見 がから速かに政府を機立するに意

預金部資金

利率引下げ方針

廿六日閣議で決定

進行狀態の報告書

作成方を命ず

第三次會議以來の政治、黨務

ろる

戦争終結を見越し

第四次全體會議召集か

市民の實際生活と様の遠い形式論・市民の實際生活と様の遠い形式論・でいるが知され、よしそれが市政

論戦本筋に

支那は何處へ行く 仕連有志の時局漫談會の

を連動がぼっくと思って来たが、 がは野がはつくと思って来たが、 がに関す調つて足戦の欧々に対する なべきだと思ふ、東三名にも民 をできたと思ふ、東三名にも民 田 E だが東三省ではまだ種勢力が、 幅をきかしても「最高」ではまだ種勢力が、 なにしても特別がありをの組織。 可なり職財を受けるを迎れない。 でも見る疑のものはない。 新しにも見る疑のものはない。 新し

G 併し際良 しては今得意の時 化だ、中郷地に全々郷の政局を 現付けた腰波がる 今のところ RR としても日本

A 東三省の用勢は南が勝つか北 たいだらう が勝つかによって分れるで

A そこでこんな事を皆ちへてる ないか、張はどちらに興味を持 F 學良は南方歌に色氣を持つて といってるた **州間孫等芳に覧したら張は矢** 

南方に好意を持つてゐるらし 一覧者い人はナ抵南方派のや 

A 北殿河でテニスなどやつたり してゐるやうだが、嬰臭はどち らかといへば西洋気だね、張を 娘が連中は大抵さうで干家権な

 少専門的に、具象的に審照實行しはあるまいか。主義、主張のため、異なきもの、否、却つて有害無益。望まざるを得めのである。」理し行かねばならぬことは、これ 自治體としての完成を期すべきでは、その存在が、市政上、些の効 人は市理事者、市は購員そのはまいか。衛生施設、本通川闘、教 般の市民も、都市生活の向上のた なるものが、主義、主張以外の何 めざるを得めのであるが、この市生活を向上せしむべきではある 更負も。また器員も、區長も、一 のではない。併しながらその會級 ては、遺憾ながら吾人もこれ・市生活を向上せしむべきではある 更負も。また器員も、區長も、一 のではない。併しながらその會級 ては、遺憾ながら吾人もこれ・市生活を向上せしむべきではある。 られてあるが矢でなく揚子位のも のだ、二十八日戦職したのが矢で あつたか場子であつたか又自分の 動物が十八日の委員會において爲 が矢で 一矢を扱ったとか何とか獲べ個へ ら何ともいへの

神歌を記念の内容を報告して今後の一神歌を記念の内容を報告して今後の一神歌を記念の内容を報告して今後の一神の神大郎、

あつた 影策につき 低重磁酶を奏らす 間が

水稻作柄豫想

總體に見て稍良

(=)

拉

說

市政に冷淡

なる市民

りではない

統帥權問題を中心とし

質問の火蓋を切る

金子河合委員が先づ皮切り

廿六日の樞府精査委員會

學科試驗 財部海相一

散會後に

意味策を協議したが、「旅部海相は、「東京二十六日製電桶」福州精査・関い、「東京二十六日製電桶」福州精査・

の離所勝査委員館では金子委員は 金子委員戒しむ

三相凝議 に就き 後の對策

側出席者は依然漫口、幣原、財部 一時より開催するに決した、政府 府精査委員會は來る二十八日午後

兵力量も間路になったが内容はい路線を附けて果れなくては判らぬ

た語師を以て幣原外相を被むる處 に反扱つた事に鑑しても相常微紫 に反扱つた事に鑑しても相常微紫 に可扱つた事に鑑しても相常微紫 第四回委員會 間部最適に魅い幣原外相が「脚部の概要では、一般の概要で、一般の概要で、一般の機の概要で、一般の機械を表示して、

「奥京二十六日麓電涌」野林省菱 | 矢は空内が近に在り普通作がに比し増設 | 大ならず市民も恐怖に襲はれてる五分以内の見込みである | 大ならず市民も恐怖に襲はれてる五分以内の見込みである | 大ならず市民も恐怖に襲はれてる | 大なり以内の見込みである | 大なりは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのである。 木村満鐵理事

軍艦出雲

**観守府喬無東、軍艦川雲は二十四** 【佐世保二十六日歿電通】佐世保 關東廳の財政に 

前後十年間盡瘁 榮轉の西山財務部長

上海標金後數

警察官異動

では、間まれてある(宮眞は西山氏) が論一般所工界からも頗っその戦 が論一般所工界からも頗っその戦

政府は本月中に

是非組織したい

汪精衛氏の時局談

政友幹部會

如く緊急を対している。 

廿六日大連市會

日程全部委員附託

とやると補助割れるやうな形式 つかれず苦吟酸く一句を得て整頓 「がちやがちやがも一つ居るよ 大りを

一つ」とは楽して能のことだらう

 大連市第五十一回市會は二十六日
 北西東洋
 り改正して誤

一は制度に破陷あり吸いのでは、日中市長は

编》、《低落》 编勒 - 月腰 - 二一個 一一一個 一一一個 一一一個 一一一個 一一一個 一一一個 一一一個

市内東公園町三十一番地へ新築中の本社々屋落成に付事務の事合上左記の通り移轉致します。
八月三十一日 編 輯 局八月三十一日 編 輯 局八月三十一日 編 輯 局別日は移轉点離の営め止むなく左記の通り事更致しますから不期日は移轉点離の営め止むなく左記の通り事更致しますから不知日は移轉点離の営め止むなく左記の通り事更致しますから不知日は移轉点離の営め止むなく左記の通り事更数しますから不知日は移轉点を関する。

完鄭一號收入雙代班秀推

發 表 九月八日午前十時本社會議室

大藏新規事業 二百五十萬層

【東京二十大日發電通】大配省では二十六日後第省議を開き大配省 所管明年度豫算衙算を決定直ちに 所管明年度豫算衙算を決定直ちに 所管明年度豫算衙算を決定直ちに

南京の駐奉代表

李石曾氏を任命か

とし野間は之れで打切り

んな印象を興へられるかに非常なるる時保上、他地方人に機能にど

私は機能の支閥口を冠って

吾等の田を書る

FOU 1/A

悲觀は大禁物だ

大いに地の利を活用せよ

鑑試課長

青柳亮氏談

院しその他乘客全部より多額 特せる十六名の脈賊現はれ變 特せる常統を輸び更に駅下林 特せる常統を輸び更に駅下林 大名の脈賊現はれ變

現して要値したものらしいと せんとしてそこに現はるや金が小

ト側は支那側が履行しなければ、ソウエ

人質二名拉去

田せる人名組選答現はれ房唐謝方 五町にある八里庄に支那軍服を宿 を宿

東級が四局長から運転科に對

大阪学院高栗畑より長続、拳銃等大部落東端に恵ふ途中撃大を西に距る三十名の乗れる瀋陽長途汽車を司の十名の乗れる瀋陽長途汽車を司の中線に向ふ途中率天を西に距る三世線に向ふ途中率天を西に距る三世線に向ふ途中率天を西に距る三世線に向ふ途中率天を西に距る三世線に向ふ途中率天を西に距る三世線に高いる。

日

湯玉麟副官一行

通行中匪賊に襲はる

匪賊に撃たる

具體的運動開始

地方委員會で協議

右して支機はず十四日金を受展り に行くと構して旅館に隔らず怪し んでるた機鐵嶺より十四日には肺

では収扱不可能の冒回答したをして欲しいとの交渉に動し東鐵

商議聯合會に

提案

牛皮、羊毛其他の貨物の代補州里の市世局から際貨物

日豫備試験を行ふ

貨物代徵拒絕

と白派の宣傳 と白派の宣傳

炭特賣制廢止

市内流動画り四十一番画が屋底に投資と指導の四十一番画が屋底に

場際生れ大連山帰通七番世居

村某が扱つた

独送で長春で検撃されて

陸競大會出場

学大祭二十三日の智祭は朝来の職間原帝域内の圏に組備分別がある。 も午後四時境職大となりが方には 押すな押すなの大戦はひであった に増した人無で十時頃からは大人 に増した人無で十時頃からは大人 を示良体長送別金間は前日 であった。

に入院せしめ加援中で減るが

町の便

IJ

金

無務處に出頭して點民の網に限校

間らぬと云ふ始末に行方が明となった。 のと云ふ始末に行方が明とな

長春における第十三回全神商歌歌と「後継」を対ると

服るが如く二十一日他界 子さんは七十九歳の天壽を学 子さんは七十九歳の天壽を学

優勝盃を獲て凱旋

不當に車馬賃 施設、道路條築、 

スペ的運動を試みることになった け出られたいと 大磯見水繁積寄りの派出所まで居住るないとのことで發奮し各代 とあり戦用者はかくの如き不良車はあないとのことで發奮し各代 とあり戦用者はかくの如き不良車 

三日から三日間評論学族。に接着 中観度の日を設つて來たが去る計 中観度の日を設つて來たが去る計 が原源の要格植きくが語彙 を表げて以来離点として禁ま した 自殺の遺書

那人王某方で認支人十類名の一日午後十二時トルコワヤ街五

字から十五字までの日本語

于から十五字までの日本語が飛線関に際し毎日三、四回東鐵電信係にては管理局長に

第二大隊兵舍

春

來月中旬竣工

軍隊移駐は廿日頃

黑河の標識照明 露支分擔交渉行惱む を改正し他のほの短疑して的事が、月一日から貨物別車南部線の時間

と ウェート側は交班側が一ヶ年三度 の 域氏間に変渉中であつたが、ソ 文 沙螺特派代表張語・対 同時に一 列車は其 世 長春第二大陸新家兵舎は目下工事 日頃になる雅定だと 長春に移される筈である、因に新 は富士町居住無職本田葉の二人 長春に移される筈である、因に新 は富士町居住無職本田葉の二人 長春に移される筈である、因に新 は富士町居住無職本田葉の二人 「長春に移される筈である」、因に新 は富士町居住無職本田葉の二人 「長春に移される筈である」、日夜日本人二人が泥臓の場が具と、 舞に検束された。一人は満續の場が長いた。

壯年者の進路を啓く

軍人會の改革案

分會を二分し分會を支持する

四軍、斷然

月人を以て分會を支持して行くと で進路を探く中で、石袋は關係各 に進路を探く中で、石袋は關係各 に進路を探く中で、石袋は關係各 に進路を探り自己の地位を守るに汲む に進路を探り自己の地位を守るに汲む に進路を探り自己の地位を守るに汲む に進路を探り出て、石袋は関係各 軍人を以て分會を支持して行くと は瀬級社堂戦、一は市中戦の在郷 は瀬級社堂戦、一は市中戦の在郷 宗在郷取人分會の改革機器の職 方面の譲解て適からず實現

飲食店組合が

長春飲食店組合役食工名は北野長と相談の上と 警察に請所 同業者の制限

弓道大會 四地對抗の

情例に依る長、花、公、四野流弓 地大會は二十四日午前十時より公 地大會は二十四日午前十時より公 地間的男のにて掌人と修験し一行 四平は選手の中り物度く最初より 四下はできたと修験し一行

るので、縣公安局より斡伐除を派れ力なる馬賊現れ暴城を選しらする馬賊現れ暴城を選しらするので、縣公安局より斡伐除を派れるので、縣公安局より政権を 取逃したと 永吉縣に馬賊

農作物は大豐作

馬賊現る

龍、九郷、草上飛、天然の合同継が漸次北方に移職せるを以て一

山の密林中 平年作に比し五割増收の豫想

野便局事務員増員 直ちに討伐戦を派遣したと 瓦房店

富地の長老根田徳台氏夫要は正教新設富士見福月見織の二階の機初 渡橋式 廿五日 いと莊殿に 北倉民衆業首安部磯郡氏は二十 九の朝日 藤原寺美 棚 館 において東北大寨教授河村及が氏はかって東北大寨教授河村及が氏はかって三の朝日同所にて「何れも職職のの際では、北京、是等名士の撃坂があって、と等名士の撃坂があって、と等名士の撃坂があって、と等名士の撃坂があって、と等名士の撃坂があって、というには二十十 嚴かに秋季大祭 來月二日は前夜祭 神輿の發御は三日

選手權大會

義捐活動寫眞 在安長

明朝戦態を所事物官場を一十五日衆の一十五日衆の上司日開原に戻り二十七日施家堡部落の上司日相原に起き二十六日開原に戻り二十七日施家堡部落の上司行相所に起き二十六日開原に戻り二十七日施家堡部落 時より全會党において公開された。
時より全會党において公開された 三日午後八時頃安東県陳巡捕は 市本署で収調中であるが此者は自 下本署で収調中であるが此者は自 轉車泥棒か おるこ

製入青半倉では九州大風水素の 災者養損金票集のため來る廿九日 戦者を開催すると

| 大田県在部民を開いる。 | 大田県在市の地域 | 大田県 | 長春に於る庭球大會 薩摩琵琶演奏 | では、中国 中で (1) である。 (1) では、中国 中で (1) である。 (1) である。 (1) では、中国 中で (1) である。 (1) 大 原せよと回答あった を整すれば評可するが本主第一排 を整すれば評可するが本主第一排 があるにでは、 を変更の歴 軍人會 平田、幸谷兩氏に奉天支部賞

の射撃會

無いでは、 一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一を

安東少年戯は五月

少年團の天幕生活

外人取締嚴命

體育ボール大會と

野であるが、近人キャンプ生活を好であるが、近人キャンプ生活を関脈成績強めて良

密輸犯人退去命令

順籍山東省学平縣郷芳亭へりは

単にて凱旋した、富日のメムバー 上型ある第一回宗都戦に優勝の爱 上型ある第一回宗都戦に優勝の爱 上型ある第一回宗都戦に優勝の爱 と関ある第一回宗都戦に優勝の爱 二十四日午前九時より長孫滿續コ 如し 第一回子安然候勝事郷原珠試合は て勝四した職績及びメムバー左の 個人賞は一等より三等まで四不衛 選手 島本、萩原、清水の三氏獲得 水の三氏獲得 四三二一 等 八十三點 汽车箱一等 八十三點 汽车箱

雅天灣大運動場にないて二十四日 大倉に出場せる増地方事務所テールない、第三回戦において二十四日 で集順大山坑A組を斃し、第二十四日 で大倉に工場である増地方事務所テール。 が、第三回戦にてて第二場頭テームに敗こ

年市場通九丁日三番地に熊貨商のつかる事質数をからけ総覧の密輸入を置しているも改設せざるに依り街を興へたるも改設せざるに依り街を興へたるも改設を命ぜられた原成生居は一般表を命ぜられた原成生居は一般に無貨商の

牧策七位の成績であった 石橋線開展テームに勝ち、 石橋の場所展示・ムに勝ち、

小野隊長着任

時間中では、100円名が重省の ・ 100円名が ・ 100円名

| (大川 (金子 (酒川 小川 (水川 (金子 (酒川 小川 ) 小川 ) 小川 ) | 古城市政際価端では市政宣無機関として月世小新職「吉城市報」をとして月世小新職「吉城市報」をとして月世小新職「吉城市報」をで月下その戦争中である。

新校舎

帝列車にて競狂 ・野新田陽東守備隊長は山九日奉 ・大震一泊の上山六日十七時十五分

学るしく狭隘を歌所は市街の波展に借ひ 教室を近く起工に供しこれがた め来る九月二日より四平街小郎校 の本る九月二日より四平街小郎校 でを被事物所に充つること」な つた、武内電話都號は從前通りな るも全線は二番に所長、呼出は小郎校 の四三都を利用すべしと 米教育者一等幸谷能介樹氏は紫天米教育者一等幸谷能介樹氏は紫天郎

昨年十一月三十日の夜長春三笠町、大塚として懸役七年を青の渡された既として懸役七年を青の渡された。

現代の象秀と含すに足らぬので、 現代の象秀と含すに足らぬので、 く新年度の歌翼に訛上し、慶內に 音成省志修製處」を設け編纂主 を探聘した を探聘した を探聘した

城内を襲ふ

人質を拉去

七人組馬賊

地方事務所に集合し直ちに守備隊、中十八名は二十三日午後四時降雨中

二十三日午後八時雲開康城内(公 東局職家)宮雲盧縣雨方へ七名の 安局職家)宮雲盧縣雨方へ七名の 野殿職人し、金品を強奪したる上 中であると、これがため姨内の居 住民一同は一大恐慌を越してゐる

側は二名の負傷者を出し診に賊を して猛烈な慢闘を行つたが、官兵 して猛烈な慢闘を行つたが、官兵 して猛烈な慢闘を行つたが、官兵

我守備隊も出動

代方については公安局でも苦心し てあたが二十五日郷六分局からの 行方については公安局でも苦心し であた戦目三勝の一鵬五十餘名の でも苦心し 馬賊閼五十餘名

月第一土曜日等に開催の見込 長春洋樂質の吉林駅間流奏會は人 

付ほ 支那艦駅地への

を運賃制度を見 があべからず、 これ

明を見出すとも出来ると思ふ(為社会の光学は、保護が無くなる、緩慢の人産は未て、保護が無くなる、緩慢の人産は未ていた。大いに元気を出して歩ー歩はい歩大いに元気を出して歩ー歩はい歩くが萎縮して見え所識を到とした 柳氏)

大脚一市一端主義――これて端鸞神管に聞ふや否や、

大連の ざるを得ぬ謎である 一番物は大連に約一週間は疾激させ

目品造製

一印雀孔一

コロタイプインキ、降オフセットインキ、京田印刷インキ、

、謄寫版印刷インキ、三色版印刷インキ、活版印刷インキ

賣販費實念紀

鑄

造部

新設の絕好機!

資

本

臺

百

萬圓

常磐生

命

字面に歪無く。字劃が正しい。今カ時間と經費の節波價格が從來の母型の三分の一。勢力時間と經費の節波 藤式改良母型の特 良母

右金 壹 千 **圓 担** 鑄型六挺其他必要器具 尻 切

一二〇三町卷鶴田稻早區込牛市京東 所造製型母藤

> 本 八

資

鐵銑山鞍

賣販約特

伏木出張所

番地

賣販手一

撫 順 炭

販賣 大連 支店 株 大阪市東區北安土町二丁目五十六番地 I 會

本 若松出張員 清水出張員

福岡縣若松市濱三番町二丁目 湖水市入江 受新田 百三十二番地 東京市・町區・丸ノ内二丁目二番地

電話長者町〇〇三三七·二二八五番 横濱市中區久保町一一一六番地

吉

日本美術寫真印刷所 東京市赤坂區田町一丁目十五番地

**祉へ御願申します** 原色版製版印刷の御用は是非弊

0

各地印刷所に有 質最 上

二町喰馬京東

築新屋社並

谷川善次郎

孩子 与心於

ひになるのが一番有效でしか

ラブ 濃化粧クラ 髪化 (日集化 なし)ないない

クラブつばみを腰化粧程度に 鈴布 せる部

の日焦け海水焦けを防ぐには

たった後にも、必ず品質優良 海水浴の前にもまた海水浴を

紫外光線にあたる三皮崎の浴びるから生じるので。こ

登つて日焦けを防止し得たもの (下の装はその實驗成績)クラブ美身クリーム又はクラブつばみ(クラブ粉白粉併用)を依つて色素洗着即ち日焦けしたもの、中央の圏(白い部分は第一圏──斉型の黒い部分は人工太陽燈(紫外光線)の照射に

供試品頭に飲布の方法皮膚の状

ラブ

器化粧製化(日 茂 化 粧炭化(日

ムが實際皮膚に應用された は次にクラブ美身クリ

研究した結果。

クラブ美身ク

次にクラブ美身クリ

クラブ美身クリーム、クラブつぼみ

どうすればよ

クラブ白粉に就て三内博士の

面白い實驗

を では なっても 真夏の太陽直射光線 なっても 真夏の太陽直射光線化粧の何れにお用ひに まっても 真夏の太陽直射光線化粧の何れにお用ひに

は必ず品質の優良な絶對無鉛

平素御使用になる自粉等

强大な紫外光線に對してもは勿論、人工太陽燈のやう

クラブ美身クリーム、クラブこれ等の實驗成績によつて

の鉛分が體内に吸せらいの鉛分が體内に吸せらい

自粉をお用ひになったな であります。若し誤つて

知らず等の中衛生的不良品た

の使用する合いの大い野、汗に青く用ひられる天瓜野、汗に青く用ひられる天瓜野、

其他乳幼兒の周閣にある人

ために溶解された自粉

大問題であるこれさねばなり

ません。それであります

用による恐ろしい鉛中毒を大きないここは含鉛白粉のらないここは含鉛白粉の

な

クラブ白

本語の季節が参ります。

止めこして真に有效なものは となるこ完全に紫外光線を吸收 となってもの、つまり日焦け

した。

け海水焦けの手質です。

サクリームが関系を越せる成り サクリームが関系を超されては特にクラブ美

國品には僅か一種しかなく

果女宮職するために十数名の 果女につきその前膊(腕)の屈 男女につきその前膊(腕)の屈

説明されたのでありました。

持つてゐるここが重ねて

部が見れるというになった彼の「乳幼兒 するこころこなり、やがて重するこころこなり、やがて重するこころこなり、やがて重することのではない。

た後皆様の御使用に供して居っ

の海愛用によつてのみ可能での表現は、優良なクラブ自粉で

の全き調和:禁むある化粧美

場合の日焦け止めこしての

る語は学科

海水浴の夏……日焦けの

日焦けを防ぐ

が多くがはつて居るここは言いなものは我々人間の思考こいなもの

ふまで

平穏に運ばれて行くものであ

子

0

出たものであればそれは必ず

心の奥底から自然に涌き

りませうが、我々の思考さい

固より我々の思考が進んで来

なければ我々の生活が進歩す

よいやうに考へるのでありま

らここもないので

み、努力をかさねて現在に まで長い間、多くの經驗を まで長い間、多くの經驗を

の数なのが

文化講座

生命なき生活

Л

生命がないやうになるのであります。そこで外であります。そこで外であります。そこで外であります。そこで外であります。そこで外であります。そこで外であります。 ますます自然を失ふやうにな

ここは決して悪いここではありませぬが、ただその思考のいかに我々の生活が自然を失ために我々の生活が自然を失

の生活は真に無邪氣であることが、子供の様子を見ることできる。 生

段々智慧が進むに從つて佛か子供ごいふものは佛に近いが子供ごいふものは佛に近いが やうなここが言はれるので ら遠ざかるものであるこい れを天真爛漫であるこもいは

無邪氣であるか無邪氣でない は大人から見てのここで

ひたければ笑ふ、誰にも遠慮しないで自分の欲するがまましないで自分の欲するがまま かう言はねばならぬのであり ます。泣きたければ泣き、 しかしながらこ を意識してさらして無邪氣な であります。それ故に大人が 生活をして居るのではない 無邪氣であるミして さういふ生活をして 人は人この問

人間は絶にす分泌され

こいふここがわからぬのであ 大切な皮膚を保護すると

40

= 鉛て

上度いこ存します。 ・上度いこ存します。 クラブ

なお化粧が水際立つた美しさ もりごしたクラブ自粉の高尚 きりごしたクラブ自粉の高尚 日マケお化粧くづれを忘れ 品さを添へる季節こなりま 自粉)の衛生的試験(特に 簡果、クラブ自粉は常に無

氏が、一般市場に次置されて

化粧川三して常に使用するもの性があるというがはなるを以てクラブ自粉を出せざるを以てクラブ自粉を 他の有害ご認むべき物質を検 衛生上安全なりこの實語を得

要外光線から來る日ヤケを ・紫外光線から來る日ヤケを ・紫外光線から來る日ヤケを 障碍を豫防する獨特の美柱 を持つて居り 自粉ならば誰方で

も絶對に無鉛で最も安全であばその何れをお用ひになつてばその何れをお用ひになつて

そして出快

スポ

VZ

2 健康 ラ

日ヤケ止に

一番よい

優良白粉の御選擇に就て夏のお化粧に最も大切な

### 質の改善さい による能率の を確保し優 東洋第一

# を防止し得たもの (左の表はその實験成績) キム又はクラブつぼみを塗つて海水浴に依る日焦け海水焦け第二圏――左肩から背へかけての白い部分はクラブ美身クリ クラブ 常に自

# 民品を廉價に生產提供 化粧品本店は

合理化を圖物 分量の増加に努め且つ販賣上最も公正なる正價増進を實施し合理的なる大量生産を行ひ更に品 のクラブ化粧品は十數年以來率先產業の合理化 の福祉を増進する事に努むる覺悟であります。 り我國現下の産業革新時代に善處し以て國家の 管理の定則により生産、販賣、消費三部一體の 良品の廉價提供を實行しつつあります。今後も

共常に無鉛であり、従つて終まれての各種類になっていてクラブ自粉はその各種類 新時代の要求する美三健康 のであります。即ち不適各 は勿論お子様方も亦彼の恐るれば鉛中毒の戯れがないここ 對に安全であるこのここが る)に罹られるやうなここが べき所謂脳膜炎(鉛中毒に因 ねて明確に立題されたのであ に亘り全國各地の官公立其 試験成績報告のすべてに 表された成績を調査研究 ラブ白粉を常にお用ひにな



大な效果を發揮 断然人気のお化粧が 中心と するクラブ自粉 こなってぬます クラブ美身クリ 粉ワブラ

\*\*\*

鳥

か

3

に於て行はれた水泳大會の妙技カリフオルニヤ、ロングビーチ

AAA



## 盲啞教育大會 から歸って

者大會」に出離し二十日歸通した陽り臨唐鹽縣校長今縣庭、今夏熊本、泰北の二ヶ所に於て開催された「全國諸師教行 今泉盲啞學校長のお土産話

術

明氏は次の如く語る

三日間は「全國官襲壓教育總會」 で翌二十七日から二十九日まで いて翌二十七日から二十九日まで が開かれ段後 ので記される。 である百三校、百八十名の顕歴波 を開かれましたが河しろ可憐なる である百三校、百八十名の顕歴波 では、百八十名の顕歴波 では、百八十名の顕歴波 できる方案如何」及總管所の を実験なる方案如何」及總管所の を実験なる方案如何」及總管所の を実験なる方案如何」及總管所の を実験なる方案如何」及總管所の を実験なる方案如何」及總管所の を表験があるだけに出まるでしたが を実験なる方案如何」及總管所の を表験があるがは出まるとして で、藤事の進行が見いった状態 しかし盲人はどうも一般に理解が だいぶ傷まされ

◇盲吸教育 に関する各盤 二ケ所の大震に臨んで感じたこと に各所縣とも啓聴者の教育に多大

白米食による 營養の不足を 用ふるか或は脂肪質や肉類をもう しかし肉類い多過ぎると危險が件のし多く踊るやうにしても宜しい

か方法としては

敬良するに當つて「タミンBや山り懸顔のみ感物で改良すべき點」心得べき根木嚢が二つある。 如何に補給するか 四日 徐田義郎氏談 成分ヴィタミン等を失はないやらは特定しなければ美味しくないとは特定しなければ美味しくないとが、これは要するに料理法の問題が、これは要するに料理法の問題が、これは要するに料理法の問題が、これは要するに料理法の問題が、これは要するに利理法の問題が、これは要するに利理法の問題がある。 積極的に は天興の野原などのかがイタミン等を失はないやう ふのであるから程度を通ごしては

ある、延經戦も第しいが変四分 ウ米六分 の棚でも領ヴィタミンBの不足が建り場いので少くとも学以上にしなければならぬ ではない、然らば継成分郷収法とし 今日は我が順日際観光の野磯 今日は我が順日際観光の野磯

昨年の夏頃からアメリカに「 である、糠一乳位に水三四乳の糖 僕等は元編を出して宿の横の窓

でれんしゆうをした。
小雨が降り出した。しかしるながには無を向けないで皆はたながには気を開心にしてゐる。
間もなく雨がやんだので早ま あたの 優等は交もや練習に取り ンドの土は雨にしつとりとぬれ

民衆藝術ミしての

石鹼塊膨

網する民衆的な新藝術が優勝

サポネーシャス。アー

の妙味

リーア(白色石織)を素材と

なった。総集は七野五で我等の勝した。結集は七野五で我等の野が生みで開 方を守った。後を見れば後によ パタテングになつた。僕は

のお茶をお飲みになった歯だっていまれたかなられたかなられたかならかがどんにできませるがどんがどんないである。 限さんのおやしきを見に行つ 先づ見たわらぶきの家は大阪 午後は紫草先生につれられ 闘りは笑ひながら観過を 

職支那語會話 ラデコ

第五十四課

15 ツルハシを使ぶと媚りよい根を媚る時度のますの根を編めてはいけないよい根を漏めてはいけないよい根を漏めてはいけないよいの根を漏めてはいけないよいの根を漏がしていません。

を大なっしむる。 を大なっしむる。 をかく食べる事である、この裸、 をを受く食べる事である、この裸、 を保護食と命名したいのである、私はこれを保護食と命名したいのである、私はこれを保護食と命名したいのである。 一升の様から五十位の 高い後が選挙なればそれだけ有 でで流して選い液を作るのであ ので流して選い液を作るのであ

事である、勿論多くとも害にはな 日報一合に相應したエキスを飲む 人分の一日量として らない 引の際から作つか、エキスを元 るに十分である、 文脚類 風者

母國へのし 旅から 朝日校野球

五〇四 電六四七七番 電二七四四 電六四七七番

事業としても最適播酵町相互計等時間の業内信仰業中有利能件にて急電

とたが出品機製五千般で超ス、日下アメリカ國内発所を巡回展覧館中である、路殿は継展覧のサポネ・シャス・アードも強からずポピュラーなものとなるであらう、ニューヨークの同野者等は六月三日から三十までアンダーソンギャラリーに於て総六面目の作品展覧館を開騰で着等は六月三日から三十までアンダーソンギャラリーに於て総六面目の作品展覧館を開騰したが出品機製五千般で超ス、日下アメリカ國内発所を巡回展覧館中であるだけに繋入でもを場上に影響を置けるので、一旦大理なの影響を見るやうた戯がある、此の影 郷が一般アマテューで影響を置けるので、一旦大理なの影響を見るやうた戯がある、此の影 郷が一般アマテューで影響を置けるので、一旦大理なの影響を見るやうた戯がある、此の影 郷が一般アマテューに影響を置けるので、一旦大理なの影響を見るやうた戯がある。此の影 郷が一般アマテューに影響を置けるので、一旦大理なの影響を見るやうた戯がある。此の影 郷が一般アマテューに影響を置けるので、一旦大理なの影響を見るやうた戯がある。

食出品中の人質作品、上は一祭入徳「垣や平足のない像」下は三等入選「ワルツ」

れば谷み込むことが出来ないから れば谷み込むことが出来ないから

げが影響されることになるのであ

茲に於てペンの御下

て米には劣りません、森に際館や

奥さんの鞭子と言ふ人の側があっ ある。一段高い所には大腿さんの側があっ

白帆高級な化性紙は

牛乳

造等一切は常機構

ニチ

チチモミ大楽町六〇

女計 第係入川奥茶酒場 看護 婦見習

骨陽 病ヘリキュー 鈴大丈太郎 電話四六九二番

書野町 一萬豊電玉

市七八五七番

小林又七支占

大山通(日本湯通) 吉野北山縣通日本タイプライター富社

女中入用

英文 養成並順印書監部通九六 英文 養成並順印書監部通九六 英語に関三〇八英學會

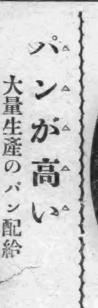
牛乳 括しには二番・

薬はヒシカワ薬局

方が町六 名古宗館電六三一一 第一層便利但價格は勉強 一層・マリ改素の結果各

ラヂ

一二 キビ、吹出物 ――婦人は風より男子がでも、ニキビや吹出物の多いのは見よいもので御座いませんが、この薬は頑固なニキーでである。 心ある御家庭には是非常備せら



が題用 皆ずでもらもし

はたもいかする。自なカレーオ、しかしバンが如何に激密質があったしましても米版であるにしましても米版であるとなれば常に之

があった。此の不は東京

が、メリケン粉の原僧低落から書は、うと思ひますが同じメリケン粉を原料とす。 かって こうの 日本の郷で こっ 一般家 ますが同じメリケン粉を原料とす。 一般家 ますが同じメリケン粉を原料とす。 一般家 こうの 日本の郷に ますが してはさつばり 値 マン類で、一般家

は第一氏の質のやうな若い時候に

者が出來てほしい

在の併出、疑問すべきであり、それと同時に選在よりももつと安僧

雲

きのふ濱町海岸

T

人物は左の如くで、その目的性宗 無難が整されてあるが、その主。 無難が整されてあるが、その主。 を利力を経験する極東反

教を否定する共産主義に する締然たる宗教職態で、その成 行きは注目される で、名種の宗教職を以て組織 なきは注目される

ボタ コレンフスキー、牧師カルガノコレンフスキー、牧師カルガノ

の水部はま天に置かれる

棋

**会員券** 一圓、

五十錢、二十錢

すを日とませ、上等靴クリーム

永記洋行

大連市大山通

日

高松宮 兩殿下

の一都市で開くこと」したいといる意識があり、右について米國の 動があつたが日本としても異議が ないので多分明年秋頃支郷におい ないので多分明年秋頃支郷におい ないので多分明年秋頃支郷におい ないので多分明年秋頃支郷におい

### 装せる共 家族を悉 署員に 匪 職覺悟で不眠の警戒 元に避難

者るしく嬉してるると思へられてるる 旅費は常方から全部支給し土地 ついて 栃四栗 御は語る

太平洋問題會議 明秋支那で開催 米國から日本に照會

が目下日本に來朝中で、モールト が目下日本に來朝中で、モールト が目下日本に來朝中で、モールト マ連士に今月中に日本を去つて支

本まなにあらゆる便宜を懸ってる。 横・行日和との報告を得て居るにも結合を でで、現象関係は十六日は絶好の飛 らずアリユーシャン糀局方面は 地でするやででしている。一方タコマ脚は が、飛行統合で作成して不許可と が、飛行統合で作成して不許可と が、飛行を なった核筋機と なった核筋を なった核筋が なった核筋を なった核筋を なった核筋を なったが はった。 なった核筋を なったが なったが はった。 なったが はった。 なったが はった。 なったが はった。 なったが はった。 なった。 なった。

更に八十名の

移民を募集

この秋から明春にかけて

大連農事會社が

天候益々惡心 貨等も願るこれを観測する機にな

タコマ號の出發遅れん

日本天主教の 受難を映畵に

高記(戦では無)と 自下野崎縣下から約十戸京都府か 日下野崎縣下から約十戸京都府か の大戸、沿線から十戸節りの申込 の五分の三を奥へるらへ五、六百剛羅度くらあまでは五分利で 共百側位の資金はドウしても必要なのですから内地の自作最な したが二人もあつて飛いの條件でせる、勿論の小目作農にはこの地の移民には持つて來いの條件でせる、勿論の

ての像功を兴彩した

日赴通の神足であったエムシャ

南京政府から

遺骨請

會 大連 開 費 責

ス月三十一日(日曜日) 中前六時三十分 午後七時四十分 大人金二圓七十五錢 小人金一圓三十七錢 小人金一圓三十七錢

大連で

死んだ外交部員

のま」に無腕で表戸も裏口も卸付けして出入が発止めて了つたので を相手取り大沖響に告訴したので を相手取り大沖響に告訴したので

に影称が実践で割置収録べてゐる二十、日家主高吉先は住年使入並

配員は

旅客課

かせよう一つです。 
で内職や職業に成功し、一家の苦で内職や職業に成功し、一家の苦で内職や職業に成功し、一家の苦いた經驗酸十六種を「婦女景」九

境を切りぬけてを いかり きゅうしょう

五五五四卷)

ンツーリストピューロー案内所(電話)■問識洲日報社(電話大三四八番)▲伊をいたします

東鐵局長軍態

をという。 であるともほこのでは、五日間気下や延卵したの容には宮駅炎ともいはれれるとのでは、五日間気下や延卵したのでは、100円のでは、100円のでは、100円のであるともほどのであるともは、100円のでは、100円

秋

0

熊岳城で

砂風呂林檎デ

せー

小作品 常會社の使命が自作器にあるん 常會社の使命が自作器にあるん

果して太平洋を 横斷飛行するか なんのかんのご飛ばぬ ブ中尉の態度疑はる 爾へらんとしたが打織く内風で如 何とも出来ず今日まで有耶無耶に されてゐたもので、改めて外憂部 より依賴があつたものだと、市内 各響では帳簿を持ち出して埋霧光 來月十九日出發

十七日發電通』副林省製

リマ市は

目下リマ市は無秩序に略り遊覧を 通過の際多數民衆の熟狂的神理を 通過の際多數民衆の熟狂的神理を が、これ一号の演説を含した。 は、これ一号の演説を含した。

西洋遊コース樹脈のドイツ青年飛

ニュョー

どなたも一道の光明を得りる」こ

「なるほどとういふ風にすれば、

服の秘策です。

混亂に陷る

将軍を民衆

文垣便り | 常士に撮戦の小島 | は何とも云ひ様がない郡である。

男女の溺死體漂流

下い目に逢つた話。

十七日早朝芝宗より入港した政部 ・ 東高角を距る五六浬の地監で全裸 ・ ではの二つの死態が流れて ・ おもに解析り場げ

店子を虐め 家主留置 

家宅侵入で 名大時はう速をとが置き質が

女の病苦に同情して

方不明のものと記憶であらうといったと、因に同死しなさきに同所

め茸栽培 ▼蹇豚 ▼養牛 ▼

農村向の融製としては、

だが死に切れず匍ひあがる

電車々掌と女給

二十七日中前七時ごろ星ケ浦國澤 年前十時ごろに至り正行の雙父と 神野島突織に満電の鰥肢鰥臀と靴及 科する者が同郷川所へ前記遺留品 村び女の下駄がキテンと並べられそ を受取りに來たこの心中のご本人 サの上に「正行」と響名した遺屑が 一男は市内萬鐵街三四次満電々車にのせられてあるのを附近散歩中の 車掌本田正行(三)女は沙河口(物町 最 )

日本人が顔見しそ

向ひ附近一帶を

無宗教共産主義に

對抗する宗教聯盟を組織

日支露猶太人等を網羅して計畫

本部は奉天に置くか

の旅大濱路にて耐労を吹き即死 した同地居住の程度茂(\*j)を燃飛 した同地居住の程度茂(\*j)を燃飛

滿洲俱樂部 次戰

自影びをに 授身自殺を願ったが遂に死に切れ 時ころ國澤半島から男女相抱いて 時ころ國澤半島から男女相抱いて 情に死のない。 と対明したが、原因は女が多年の と判明したが、原因は女が多年の と判明したが、原因は女が多年の を判明したが、原因は女が多年の 貨物自動車

ローマ法王廳にペテロ寺の

を見せの模様である

かが向口影響内小平島河口で石崎前 物目順車を運動して旅戦への勝途 ・ 一十六日午後四時代頃旅戦水師然 ・ 一十六日午後四時代頃旅戦水師祭 老人を轢殺

東京風菓子謹製

通大山通

00

満県グラウンド 東京線飛行の東京航機は二十五日 ・フナ六日列電池 三大陸衛戦母

市内海連町近江洋行で際政事型した金属中等更校野球大館優勝校業一一等版順、三宅良政人二等大連、八田時太部人三等大館優勝校業 村へル長女とみ子へ。シは本平六月 中五日活験祭出吉村養維(ごシと共 に無際家出し行方不明となったが 最近男が市内連鎖商店内常盤摩に 最近男が市内連鎖商店内常盤摩に 豫想投票當選者

大連市淡路町十七 ブリキ

(詰瓶一均錢拾) 各地名産 V. ほ黄黄 の小ちり原で 梅 漬そ煮干ほ

版年禮壽長翁歡迎 管選、合同芝居演奏會 一時、八月二十八日、二十九日午後七時より 會費。二十級圖里二世) 會費。二十級圖里二世) 一時、八月二十八日、二十九日午後七時より 一時、八月二十八日、二十九日午後七時より 一時、八月二十八日、二十九日午後七時より 一時、八月二十八日、二十九日午後七時より 一時、八月二十八日、二十九日午後七時より

大連市三河町十八

家は笑ひの清開、不默無も物かはしたから、質に得離い愛考記事でしたから、質に得離い愛考記事で 生活を考へる主婦こそ最も賢明ないのががいい。

化たいにも仕事がな! 大脳心

7

經驗座談會 不景氣征服の秘訣 公開!ご覽下さい 副業

## 今の解離生活者向と、地方殿家向 をに分って競夷の御、桑考として とに分って競夷の御、桑考として ピーズ細工の保證金詐欺にから

松浦自轉車商

新らしくて乗心地で

其他愛議者の職業と手内

許賣

寒防

710

各

雨

口

羽

服

最も用ひ易き濃厚肝油のみなられととる るな的想理に人大般一 洪養吳壯科 帝國發明協會優等實受報河命動太郎創發 日.英.佛專賣特許 滋養強壯 ヴィタミン町 計油球 PETERATION OF PURSUITATION OF

宿辞賣存

610BA7

賜山階宮殿下御買

淋疾

胃腸障害…… 絶無 数 終 数 の 変 数 数 数 の で 数 数 数 数

放る部とりのの部語

Ţ

鑛業所

電話四四九五滿日廣告部專用

浴場を新設又は變更せんとする方は雒申込を⑥全國に 模範 六一〇パスハップ 温 泉あり

各地に特約店あり

一浴治。

7.

武藤鉅名會社藥品部

硬

病化病

(供 膓 疾

のミツワ石絵本館 

御相談に應じますの観光の 大湖市兒玉町州得地大湖市兒玉町州得地

最寄販賣店にて御買求願止候 總代理店 五品ビル三階 九番地 ウイツ商會

ス

樣に付其効果を御認め被

下度候

常に視力の弱き方は御試

用あれば平眼同

を有せ

ズ

室内装飾

命后ワツミ 是學士 一學士 三妻永郎氏 要士 三妻永郎氏 野中正夫氏 水も空も野も山も甦る 雨。 三倍以上も保つ 性氣なく用って 汗: 石 自 0) T 〇ミッワ石絵 あ 3 池 か 沫。 75 T て 京東